

膀胱用超音波画像診断装置

リリアム[®]α-200

アクセサリー 説明書



～お願い～

- 株式会社リリアム大塚の許可なく本書の一部または全部を作り変えたり、無断で転載したり、あるいはいかなる方法においても転送することを禁止します。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

本書の内容について不明な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、「株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター（裏表紙参照）」までご連絡ください。

目次

◇目次	1
1. アクセサリー	
◇1.1. アクセサリーについて	3
◇1.2. アクセサリー使用方法	6
◇1.2.1. 残尿測定用アダプタ	6
◇1.2.2. 残尿測定用クリップ	7
◇1.2.3. 定時測定用ジェルパッド	8
◇1.2.4. 水スプレー	8
◇1.2.5. リリアムテープ	9
◇1.2.6. 角度補正具	10
◇1.2.7. ポケット付固定帯	11
◇1.2.8. 定時測定用ポーチ<別売>	11
◇1.2.9. 残尿測定用ポーチ<別売>	11
◇1.2.10. 専用プリンタ (A012-01) <別売>	12
2. 専用プリンタ (A012-01)	
◇2.1. 正しく安全にご使用いただくために	13
◇使用上のご注意	13
◇2.2. 製品構成	15
◇2.2.1. 専用プリンタおよび同梱品	15
◇2.2.2. 各部の名称	16
◇2.3. ご使用前の準備	18
◇2.3.1. 感熱紙のセット	18
◇2.3.2. 電源を入れる/切る	19
◇2.4. 専用プリンタからの印刷	20
◇2.4.1. 専用プリンタの登録・登録削除	20
◇2.4.1.1. 登録	20
◇2.4.1.2. 登録削除	22
◇2.4.2. 残尿測定データの印刷	23
◇2.4.2.1. 現在の測定値の印刷	23
◇2.4.2.2. 保存した測定値の印刷	24
◇2.4.3. 定時測定データの印刷	25
◇2.5. 印刷結果	27
◇2.5.1. 残尿測定データ	27

◇2.5.2.	定時測定データ（排尿日誌）	27
◇2.6.	お手入れ	28
◇2.6.1.	清掃方法	28
◇2.7.	プリンタの状態表示	28
◇2.8.	故障かな？と思ったら	29
3.	排尿日誌作成	
◇3.1.	画面説明	30
◇3.2.	ダウンロード方法	32
◇3.2.1.	「定時測定データ読み取りアプリ」のダウンロード	34
◇3.2.2.	「排尿日誌アプリ」のダウンロード	37
◇3.3.	排尿日誌作成手順	39
◇3.3.1.	（参考）「排尿日誌アプリ」による 排尿日誌を作成するにあたって	39
◇3.3.2.	定時測定データの読み取り・保存	40
◇3.3.3.	「排尿日誌アプリ」による排尿日誌作成例	46
◇3.3.4.	（参考）定時測定データの編集	50
◇3.3.4.1.	「リリアム α-200」本体からの編集	50
◇3.3.4.2.	パソコンに取り込んだ定時測定データからの編集	51
◇3.3.5.	Bluetooth 通信がうまくいかない場合	53
◇	索引	56

※問い合わせ先

株式会社大塚製薬工場 輸液 DI センター……………裏表紙

1. アクセサリー

1.1. アクセサリーについて

※仕様等は、予告なく変更になる場合があります。

◇リリウムジェル

プローブ側に塗ることにより、
プローブと皮膚の間の空気を
遮断します。リリウムジェルは、
測定しやすい固さになっています。



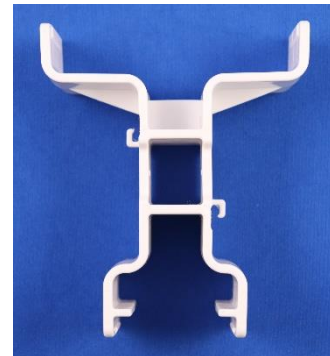
◇単3形乾電池（初回同梱4本）

本体を動かすために2本必要です。



◇残尿測定用アダプタ

本体側に固定し、プローブを
取り付けることで、片手での
操作が可能です。



◇残尿測定用クリップ

プローブ側に取り付けることで、
直接プローブに触れずに操作が
可能です。



◇定時測定用ジェルパッド

定時測定の際にプローブに貼り付け、
プローブの体表面への固定に使用します。



◇リリアムテープ

定時測定の際にプローブを皮膚に固定する
ために使用します。



◇水スプレー

ジェルパッド使用時に、
ジェルパッド表面に水を
噴霧するために使用します。



◇角度補正具

定時測定の際に、下腹部が出ている方
に対して角度補正のために使用します。
10度・15度・20度の3種類から体型に
合わせて選択してください。



◇ポケット付固定帯

定時測定の際にプローブを固定
した後、固定帯を使用すると、
より安定した測定ができるよう
になります。ポケット部に本体を
収納可能です。



◇定時測定用ポーチ<別売>

定時測定する際に使用します。
ポーチに入れながら、測定中の画面を確認することも可能です。



◇残尿測定用ポーチ<別売>

本体およびアクセサリなどの持ち運びに使用します。



◇充電式電池セット<別売>

繰り返し充電可能な電池と充電器のセットです。



◇専用プリンタ (A012-01) <別売>

本体のデータをプリントアウトします。
感熱紙を使用しています。



1.2. アクセサリー使用方法

1.2.1. 残尿測定用アダプタ



①本体側面の溝にアダプタを固定します。

<ポイント>

アダプタを溝にはめた後に、上下に少しずらすとしっかりとハマる位置があります。



②プローブケーブルを横のツメにかけます。



③プローブケーブルをアダプタに巻き付けます。

<注意>

プローブケーブルを強く巻き付けると、断線の原因になりますのでご注意ください。



④プローブケーブルをもう1つのツメにかけます。



⑤プローブのラベルの貼ってある面が内側になるように、プローブを溝にはめます。



⑥写真のように片手で測定が可能になります。

<注意>

使用時に腹部を強く押しすぎないように、十分ご注意ください。

1.2.2. 残尿測定用クリップ



①プローブのラベルの貼ってある面が内側になるように、プローブを溝にはめます。

②プローブケーブルを横のツメにかけます。



③プローブケーブルをクリップに巻き付け、もう1つのツメにかけます。

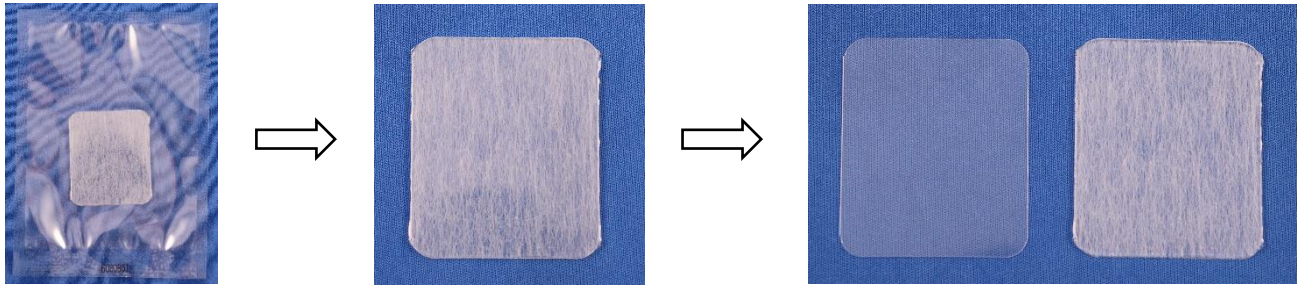
④写真のようにプローブクリップを持って測定が可能になります。

<注意>

使用時に腹部を強く押しすぎないように、十分ご注意ください。

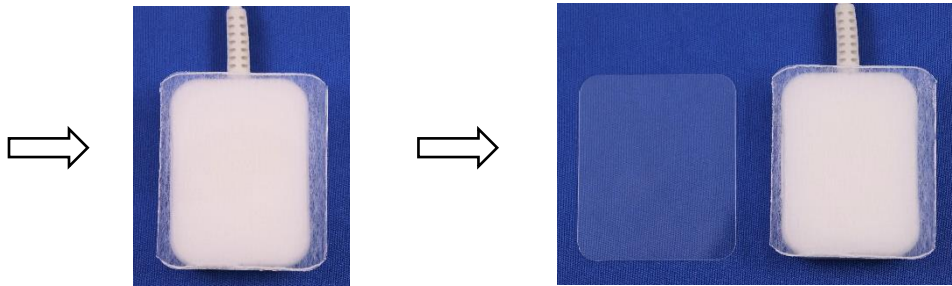
1.2.3. 定時測定用ジェルパッド

1.2.4. 水スプレー



①外袋を開封し、中から
ジェルパッドを取り出し
ます。

②透明の保護シートを
片面だけはがします。



③プローブのラベルの
貼っていない面に
ジェルパッドを
貼り付けます。

④反対側の透明の保護シート
をはがします。

<ポイント>

気泡が入らないように貼っ
てください。気泡が入っ
ている場合には、指で気泡を
押し出してください。

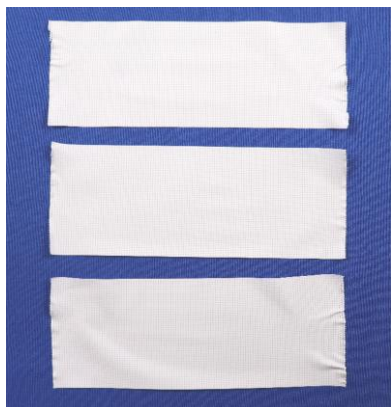


<注意>

ジェルパッドは、
1回使用ごとに
交換してください。

⑤水を入れた水スプレーを
ジェルパッド全体に3~5回
吹きかけて使用します。

1.2.5. リリアムテープ



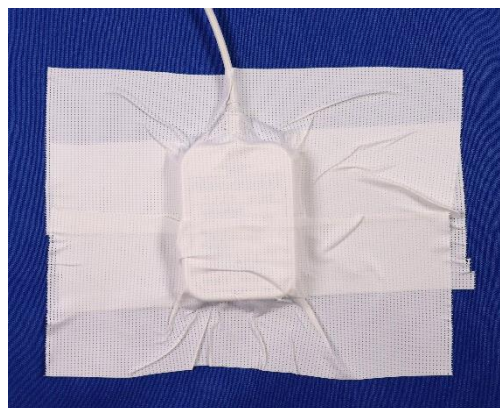
①事前にリリアムテープを適度な長さに切って準備しておきます。



②1枚目をプローブとの隙間を出来るかぎりなくすように貼ります。



③2枚目を上部に貼ります。
(プローブケーブルも一緒に固定できます)



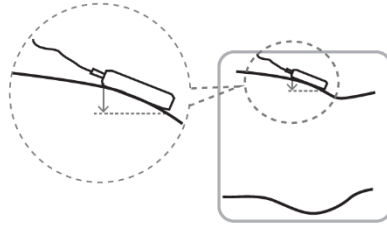
④3枚目を下部に貼ります。

1.2.6. 角度補正具

※残尿測定の際には必要ありません。

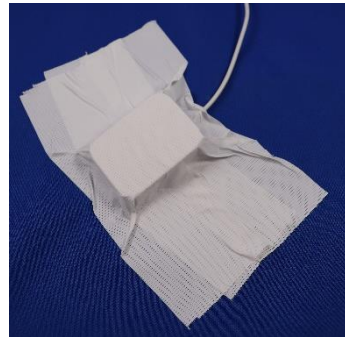
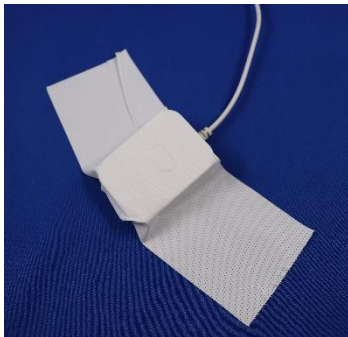


仰臥位であればベッドと平行になる程度の角度補正具を選択します。



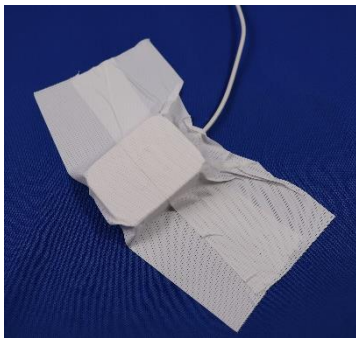
①事前に体型に合わせて適当な角度補正具を選択し、定時測定の準備をします。

②プローブの上からそのまま角度補正具を重ねます。
※角度補正具の厚みのある方が頭部方向



③1枚目をプローブとの隙間を出来るかぎりなくすように貼ります。

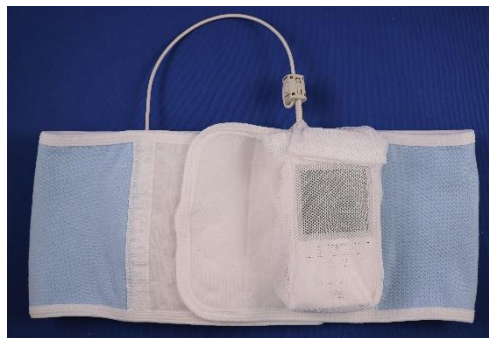
④2枚目を上部に貼ります。



⑤3枚目を下部に貼ります。

⑥固定帯を適度な圧がかかる程度に巻き付けます。

1.2.7. ポケット付固定帯



プローブをあてた位置に固定帯を巻きます。

本体を収納できるポケットが付いています。

1.2.8. 定時測定用ポーチ<別売>



<注意>

ポーチから本体が落ちないように気をつけてご使用ください。

ポーチの底部にあるパーツを取り除いて使用しても構いません。

写真のように本体を収納してご使用ください。

1.2.9. 残尿測定用ポーチ<別売>



写真のように本体およびアクセサリを持ち運ぶ際に使用します。

1.2.10. 専用プリンタ（A012-01）＜別売＞





使用方法等の詳細は、P12 以降
「2. 専用プリンタ（A012-01）
＜別売＞」をご参照ください。

2. 専用プリンタ（A012-01）＜別売＞

2.1. 正しく安全にお使いいただくために

- ◇ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- ◇必要な時にはいつでもお読みいただけるように、大切に保管してください。
- ◇使用者や患者への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のように表示しています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。

表示の説明

 警告	取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示します。

使用上のご注意



火災・感電の原因となりますので、次の点をお守りください。

- ◇電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、他の製品に付属の電源コードは使用しないでください。
- ◇破損した電源コードは、使用しないでください。
- ◇濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- ◇プリンタ外部の清掃をする際には、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ◇電源プラグは、確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- ◇アルコールやシンナーなど、可燃性溶剤の近くに設置しないでください。
- ◇電源コードを取り扱う際は、次の点をお守りください。
 - ・傷つけない
 - ・加工しない
 - ・引っ張らない
 - ・重たいものを載せない
 - ・無理に曲げない
 - ・束ねない
 - ・結ばない
 - ・たこ足配線をしない

- ◇本製品を分解、改造しないでください。
- ◇近くで雷が発生した際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ◇表示された電源（AC100V）以外は使用しないでください。また、日本国外では使用しないでください。
- ◇煙が出る、変なにおいや音ができるなど、異常を感じた場合は、すぐに使用を中止してください。
点検・修理に関しては、株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンターまでお問い合わせください。



注意

火災・感電、けが、故障の原因となりますので、次の点をお守りください。

- ◇不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- ◇湿度の高い場所・ほこりの多い場所・屋外・直射日光のあたる場所・高温となる場所・密閉された場所・火器の近くに設置しないでください。
- ◇毛やほこりが入り込む恐れがありますので、じゅうたん・カーペット・毛布などの上に設置しないでください。
- ◇電源コードに強い負荷をかけないでください。
- ◇万が一、水や液体が内部に入った場合には、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。点検・修理に関しては、株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンターまでお問い合わせください。

2.2. 製品構成

2.2.1. 専用プリンタおよび同梱品

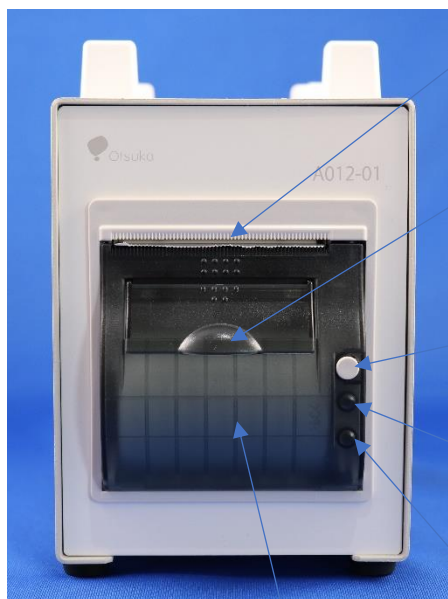


仕様等は、予告なく変更になる可能性があります。

- ①専用プリンタ（A021-01）
- ②電源コード
- ③電源プラグ変換アダプター
- ④プリンタ用感熱紙 2個
- ⑤安全にご使用いただくために

2.2.2. 各部の名称

◇本体正面



ペーパーカバー

ペーパーカッター

感熱紙を切断する際に使用します。

開閉レバー

ペーパーカバーを開閉する際に使用します。

フィードスイッチ

紙送りをする際に使用します。

POWER ランプ（上段）

プリンタの電源入／切を確認する際に使用します。

ERROR ランプ（下段）

プリンタのエラー状態を示します。

◇本体背面



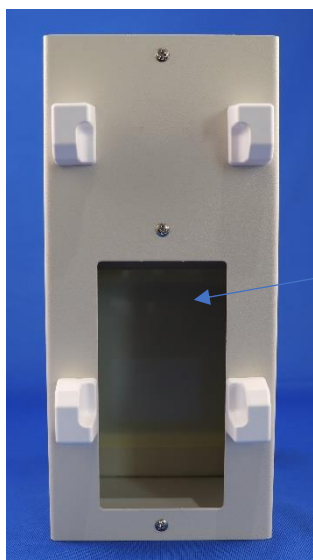
電源スイッチ

プリンタの電源の入／切をする際に使用します。

電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。

◇本体上部



本体収納スペース

残尿測定用アダプタを取り付けた状態で
「リリアム α -200」本体を保管可能です。

※専用プリンタからの印刷の際に、
この場所に置く必要はありません。

2.3. ご使用前の準備

2.3.1. プリンタ用感熱紙のセット

① プリンタ用感熱紙がセットされているか確認してください。

初回使用時およびプリンタ用感熱紙がセットされていない場合は、プリンタ用感熱紙を次の手順でセットしてください。

② 開閉レバーを指で上に引き上げ、そのまま手前に引くと、ペーパーカバーが開きます。



開閉レバー



③ プリンタ用感熱紙を下の写真を参考にして、切れ端が上方向になるようにセットします。感熱紙の先端が上部隙間から外側に出るように注意しながら、ペーパーカバー上部中央を押して閉じてください。余分な感熱紙をペーパーカッター部分で切断してください。



2.3.2. 電源を入れる/切る

①本体背面にある電源コネクタに
付属の電源コードを接続します。

②しっかりと接続したことを確認後、
電源プラグをコンセントに差し込みます。

※付属の電源コードは 3P プラグと
なっています。コンセントが 2P
ソケットの場合には、付属の電源
プラグ変換アダプターを差し込んで
からご使用ください。



③電源スイッチの「|」側を押して、電源を
入れます。

④プリンタ前面にある「POWER ランプ」
が緑色に点灯していることを確認して
ください。

⑤印刷終了後に電源を切る場合は、電源
スイッチの「○」側を押してください。



POWER ランプ 点灯



ERROR ランプ 点灯

2.4. 専用プリンタからの印刷

専用プリンタからの印刷は、全て「リリアムα-200」本体側で操作します。「リリアムα-200」本体の操作は、専用プリンタの近くで行ってください。

※専用プリンタ上部の本体収納スペースに「リリアムα-200」本体を置く必要はありません。

※本製品は、Bluetooth (Class2) を採用しています。電波到達距離の目安が最大 10m と規定されていますが、これはあくまで規格値であり、使用する機器や環境によって届かない場合があります。「リリアムα-200」本体をできる限り専用プリンタの近くで操作することをお勧めします。

2.4.1. 専用プリンタの登録・登録削除

2.4.1.1. 登録

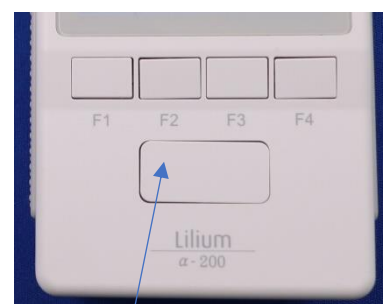
初めて専用プリンタを使用する場合には、「リリアムα-200」本体から使用する専用プリンタを登録する必要があります。測定実施前に登録設定を済ませておくことをお勧めします（以下に、事前に登録設定をする方法を示します）。

※一度登録すれば、登録されたプリンタは毎回登録する必要はありません。

※登録したプリンタとは異なるプリンタを使用する場合には、その都度登録し直す必要があります。

<事前に登録設定をする方法>

- ①専用プリンタの電源を入れます。(P. 19 参照)
- ②「リリアムα-200」本体に単 3 形乾電池 2 本（充電式電池も可）を入れ、プローブも接続します。
- ③決定開始ボタンを押し、電源を入れます。




決定開始ボタン

④再度決定開始ボタンを押します。

※大きな数字の点滅が止まります。



⑤F2 キー () を押します。


⑥初めて専用プリンタを使用する場合には、画面中央に「-----」と表示されます。

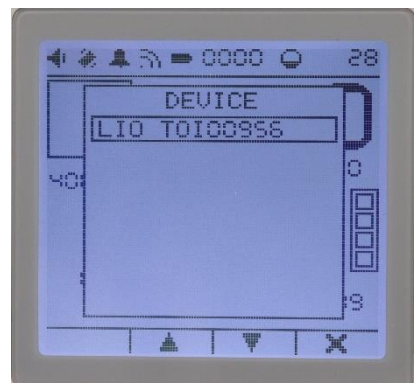
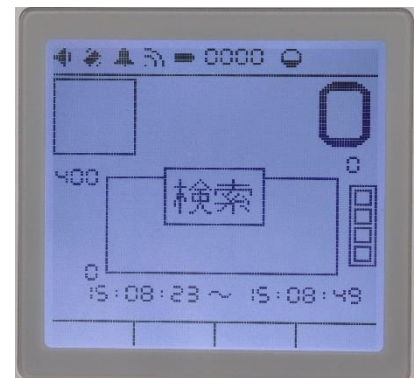
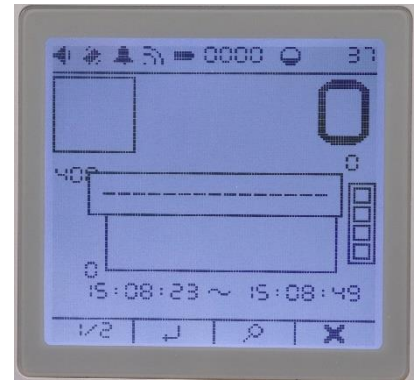
⑦F3 キー () を押します。画面中央に「検索」と表示されます。

⑧しばらくすると検索結果が表示されます。

⑨決定開始ボタンを押すと、選択中の専用プリンタが登録され、前の画面に戻ります。「LI0 (シリアル番号)」が専用プリンタです。専用プリンタ背面にある製造番号と一致していることを確認してください。

※複数のデバイス(「リリアムα-200」本体)が検索された場合は、登録するデバイスをF2 キー () ・F3 キー () で選択します。

※途中で作業を中止する場合は、F4 キー () を押して前の画面に戻ります。



2.4.1.2. 登録削除

①「リリアムα-200」本体に単3形乾電池2本
(充電式電池も可)を入れ、プローブも接続します。

②決定開始ボタンを押し、電源を入れます。



③再度決定開始ボタンを押します。

※大きな数字の点滅が止まります。

④F2キー () を押します。

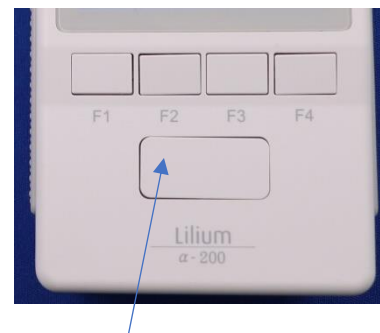
⑤F1キー (1/2) を押します。

⑥F3キー () を押します。

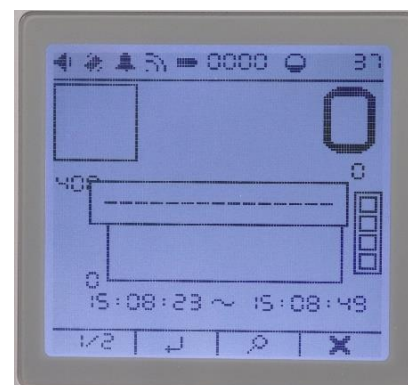
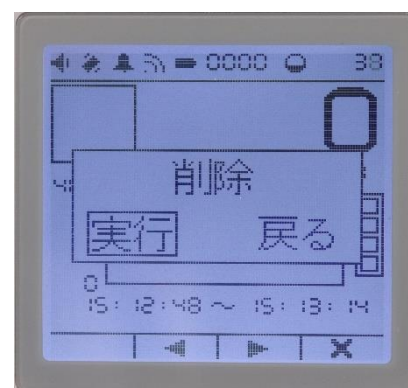
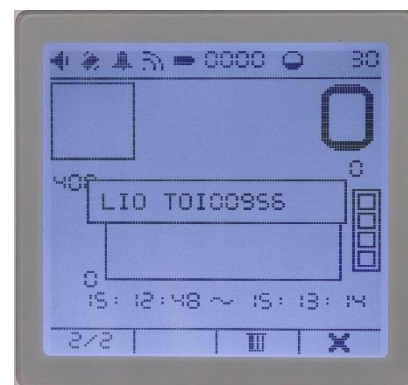
⑦F2キー () ・F3キー () を押して
「実行」を選択します。

⑧決定開始ボタンを押して、削除を実行します。
画面中央に「-----」と表示されます。

※途中で作業を中止する場合は、F4キー (x) を
押して前の画面に戻ります。





決定開始ボタン



2.4.2. 残尿測定データの印刷

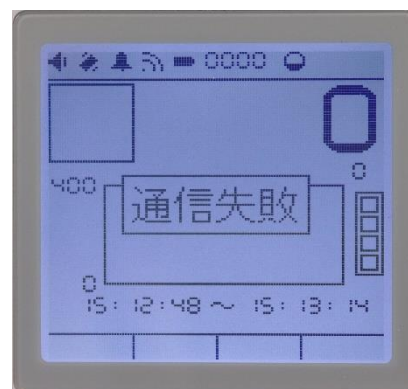
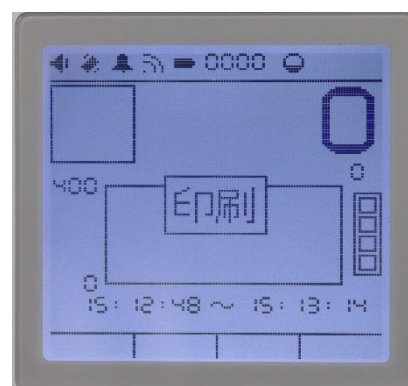
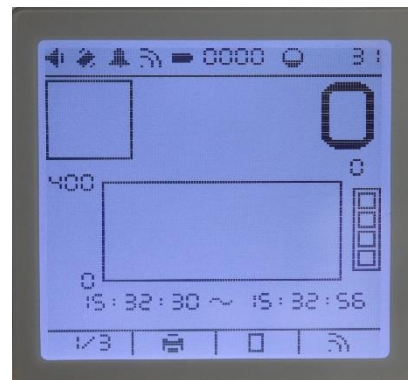
2.4.2.1. 現在の測定値の印刷

- ①専用プリンタの電源を入れます。(P. 18 参照)
- ②残尿測定モードの測定手順(取扱説明書第3版 P. 34 参照)に従って測定します。
- ③F2キー()を押します。
- ④F2キー()を押すと、登録された専用プリンタから印刷を開始します。
※画面中央に「———」と表示される場合は、専用プリンタの登録設定(P. 20 参照)をしてください。
- ⑤印刷が終了すると、測定結果画面に戻ります。

※通信に失敗した場合

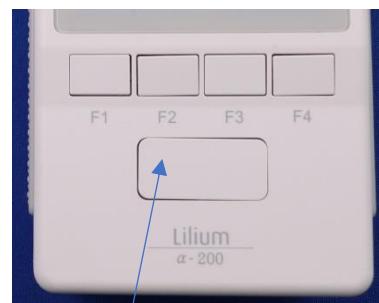
専用プリンタとの通信に失敗した場合は、画面中央に「通信失敗」と表示されます。専用プリンタの電源が入っていることを確認し、再度印刷してください。

※途中で作業を中止する場合は、F4キー(×)を押して前の画面に戻ります。






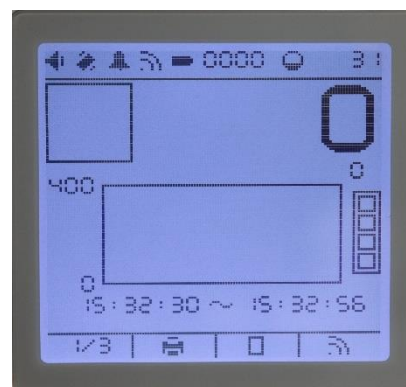
2.4.2.2. 保存した測定値の印刷

- ①専用プリンタの電源を入れます。(P. 18 参照)
- ②「リリアムα-200」本体に単3形乾電池2本(充電式電池も可)を入れ、プローブも接続します。
- ③決定開始ボタンを押し、電源を入れます。




決定開始ボタン

- ④再度決定開始ボタンを押します。
※大きな数字の点滅が止まります。
- ⑤F3キー () を押します。
- ⑥F2キー ()・F3キー () を押して、印刷する保存した残尿測定データを表示します。



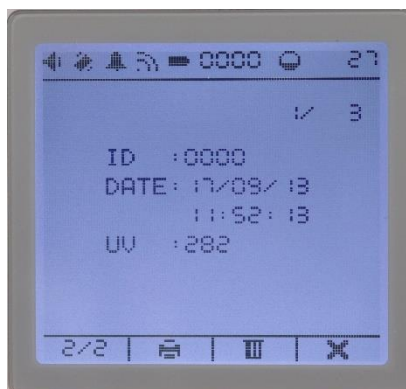
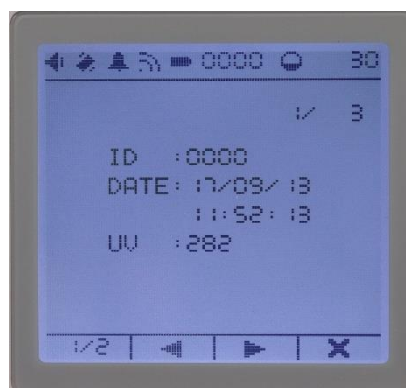
- ⑦F1キー (1/2) を押します。

- ⑧F2キー () を押します。

- ⑨F2キー () を押すと、登録された専用プリンタから印刷を開始します。

※画面中央に「-----」と表示される場合は、専用プリンタの登録設定 (P. 20 参照) をしてください。

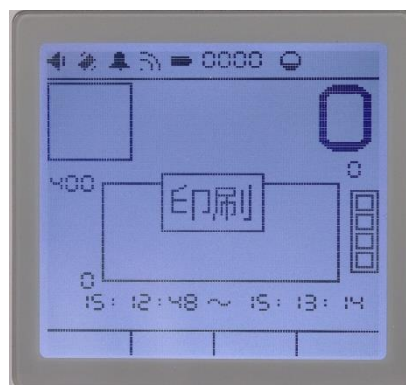
- ⑩印刷が終了すると、測定結果画面に戻ります。



※通信に失敗した場合

専用プリンタとの通信に失敗した場合は、画面中央に「通信失敗」と表示されます。専用プリンタの電源が入っていることを確認し、再度印刷してください。

※途中で作業を中止する場合は、F4キー (×) を押して前の画面に戻ります。



2.4.3. 定時測定データの印刷

- ①定時測定モードの測定手順（取扱説明書第3版 P.38 参照）に従って測定します。

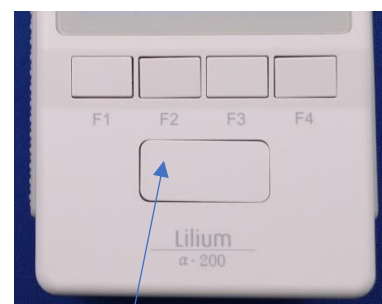
※測定終了後、一度電源を切っても定時測定データは「リリアムα-200」本体に自動的に保存されています。定時測定データの保存に関する注意事項は、取扱説明書第3版 P.38 をご参照ください。

- ②専用プリンタの電源を入れます。（P.18 参照）

- ③「リリアムα-200」本体に単3形乾電池2本（充電式電池も可）を入れ、プローブも接続します。


- ③決定開始ボタンを押し、電源を入れます。

※定時測定モードの画面になっていない場合には、以下の手順で定時測定モードの画面に切り替えてください。



決定開始ボタン

◇決定開始ボタンを押し、位置決め画面になった場合

①大きな数字が点滅している状態で、F3 キー（）を押す。

②定時測定モードの画面に変わるので、次の手順④に進む。

※ここで決定開始ボタンを押さないように注意してください。

3日間以上経過した定時測定データが自動消去されてしまいます。

◇決定開始ボタンを押し、排尿タイミングモードの画面になった場合

①決定開始ボタンを長押しすると「測定停止」と表示され、指を離すと電源が切れます。

②決定開始ボタンを押し、電源を入れます。

③大きな数字が点滅している状態で、F3 キー（）を押す。


④定時測定モードの画面に変わるので、次の手順④に進む。

※ここで決定開始ボタンを押さないように注意してください。

3日間以上経過した定時測定データが自動消去されてしまいます。

④F1 キーを 2 回押し、(3/4) 画面に切り替えます。

⑤F2 キー () を押します。

⑥F2 キー () を押すと、登録された専用プリンタから印刷を開始します。

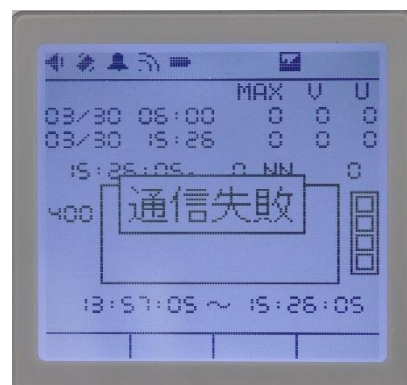
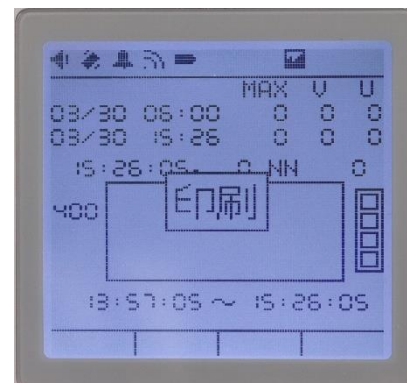
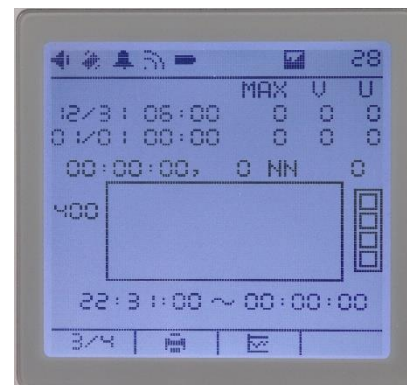
※画面中央に「———」と表示される場合は、専用プリンタの登録設定 (P. 20 参照) をしてください。

⑤印刷が終了すると、測定結果画面に戻ります。

※通信に失敗した場合

専用プリンタとの通信に失敗した場合は、画面中央に「通信失敗」と表示されます。専用プリンタの電源が入っていることを確認し、再度印刷してください。

※途中で作業を中止する場合は、F4 キー (×) を押して前の画面に戻ります。



2.5. 印刷結果

2.5.1. 残尿測定データ

*** α-200 ***

S/N : UB000012

ID : 0000

時刻 : 17/9/13 11:52:18

尿量 : 186 ml

2.5.2. 定時測定データ (排尿日誌)

2016-01-24

膀胱機能評価

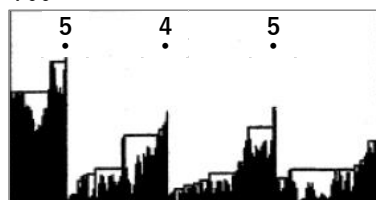
最大	535
排尿回数	5
平均排尿量	330
平均残尿量	53
尿意回数	5

排尿日誌

	排尿	残尿	尿意
7:48			5:528
7:49	505	30	
11:04	292	36	4:320
14:36	249	92	5:330
20:18	243	51	4:290
1:56	361	60	4:415

膀胱の活動性

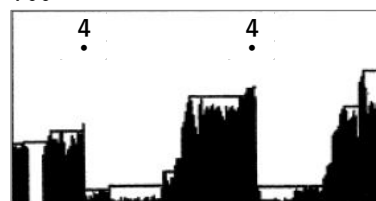
700



6:00

17:59

700



18:00

5:59

2.6. お手入れ

2.6.1. 清掃方法

プリンタの清掃は、感電・故障を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

- ◇清掃する時は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ◇プリンタ外部が汚れている場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- ◇アルコールやベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

2.7. プリンタの状態表示

プリンタの状態を「POWER ランプ」と「ERROR ランプ」で確認できます。

◇プリンタの状態とエラー表示

プリンタの状態	ランプ表示		対処方法	関連頁
	上段・緑色 (POWER ランプ)	下段・橙色 (ERROR ランプ)		
印刷可能/印刷中	点灯	消灯	そのまま使用可能。	16, 19
電源切	消灯	消灯	電源を入れてください。	16, 19
感熱紙未挿入	消灯	点灯	感熱紙をセットしてください。	16, 18
ペーパーカバー 解放状態	消灯	点灯	ペーパーカバーを閉じてください。	16, 18
内部故障	消灯	点灯	ペーパーカバーを閉じて もエラー状態から復帰し ない場合には、内部故障 の可能性があります。株 式会社大塚製薬工場 輸 液DI センターへご連絡く ださい。	16, 18

2.8. 故障かな？と思ったら

症状	原因	対処方法	関連頁
電源が入らない。	電源スイッチが切になっている。	本体背面にある電源スイッチの「 」側が押されているか確認してください。	19
	電源コードがしっかりとつながれていない。	本体背面の電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認してください。続いて、電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。	19
印刷が止まった。	ペーパーカバー解放状態など。	プリンタの状態表示を確認してください。	16, 18
印字がおかしい。	長期間使用していなかった。	フィードスイッチを押して、数回紙送りをしてください。	16
	高温（室温 50℃以上）あるいは低温（室温マイナス 10℃以下）になる場所に設置していた。	高温あるいは低温を避けた室内でご使用ください。	14

⑥ ファイルの取り込みボタン
定時測定データを取り込みます。

⑦ 印刷ボタン
表示されている排尿日誌を印刷します。

⑧ 補正選択
グラフの補正表示の「あり・なし」を選択します。

⑨ 排尿日誌
取り込んだ定時測定データから、自動でここに排尿日誌を作成します。
データが11件以上になると[排尿日誌2][排尿日誌3]に記載されます。
排尿または尿意を記録した時刻が表示されます。

<表示説明>

- ・ 排尿…排尿量 (mL) ・ 残尿…残尿量 (mL)
- ・ 尿意…尿意の強さ:入力した時点の膀胱内尿量 (mL)

⑩ 膀胱機能の活動性
④に入力した「起床時刻」から「翌朝の起床時刻」までの定時測定結果の推移を
グラフ表示します。

グラフ内の「・」は、排尿を記録したタイミングを示します。

グラフ上部の数字は、尿意の強さを記録したタイミングと強さを示します。

⑪ 膀胱機能評価
最大膀胱容量 (mL)・排尿回数 (回)・平均排尿量 (mL)・平均残尿量 (回)・
尿意回数 (回) の各項目が自動計算されます。

⑫ 膀胱機能評価の内訳
昼間尿量 (mL)・昼間排尿回数・夜間尿量 (mL)・夜間排尿回数・夜間尿量率 (%)
が自動計算されます。失禁回数と失禁量を記録している場合には、青色部分に
任意入力可能です。

3.2. ダウンロード方法

排尿日誌作成には、以下の2種類のアプリのインストールが必要です。

- ◎定時測定データ読み込みアプリ
- ◎排尿日誌アプリ

以下、「株式会社リリアム大塚ホームページ (<https://www.lilium.otsuka/>)」からパソコンにインストールする手順となります。

※「定時測定データ読み取りアプリ DVD」からパソコンにインストールする方法は、取扱説明書第3版 P.66 をご参照ください。「排尿日誌アプリ」は、株式会社リリアム大塚ホームページからのみインストール可能です。

①任意の検索サイトから「リリアム大塚」を検索します。



②[製品情報ページ]をクリックします。



③ [各種ダウンロード] をクリックします。



④ 各アプリをクリックして、ダウンロードに進みます。

関連アプリダウンロード

定時測定データ読み取りアプリ

定時測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアムα-200本体から得たデータをPCに取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについては取扱説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

正常にインストールが行えない場合は、こちらからファイルをダウンロードしダブルクリックして任意のフォルダに解凍してから、解凍したフォルダ「定時測定データ読み取りアプリ」内の「BTComRelayApp.exe」を実行してご使用ください。また、こちらのファイルを解凍した際、本アプリでは「Microsoft .NET Framework 4.5」が必要となるため、「Microsoft .NET Framework 4.5」のインストーラーが自動で起動します。画面の指示に従ってインストールを完了してから、フォルダ内のアプリを実行してください。

定時測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/52.4 MB) >

排尿日誌アプリ

「リリアムα-200 排尿日誌」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「解析用アプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。
動作確認済みソフトウェア

・ Microsoft Excel 2013 ・ Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

排尿日誌アプリ (for Windows PC/334 KB) >

※排尿日誌作成には、2種類のアプリが必要です。「排尿日誌アプリ」のみでは、排尿日誌作成はできません。ご注意ください。

3.2.1. 「定時測定データ読み取りアプリ」のダウンロード

① [定時測定データ読み取りアプリ]をクリックします。

関連アプリダウンロード

定時測定データ読み取りアプリ

定時測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアムα-200本体から得たデータをPC上に取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについては取扱説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

正常にインストールが行えない場合は、こちらからファイルをダウンロードしダブルクリックして任意のフォルダに解凍してから、解凍したフォルダ「定時測定データ読み取りアプリ」内の「BTComRelayApp.exe」を実行してご使用ください。また、こちらのファイルを解凍した際、本アプリでは「Microsoft .NET Framework 4.5」が必要となるため、「Microsoft .NET Framework 4.5」のインストーラーが自動で起動します。画面の指示に従ってインストールを完了してから、フォルダ内のアプリを実行してください。

定時測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/52.4 MB) >

排尿日誌アプリ

「リリアムα-200 排尿日誌」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「解析用アプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。動作確認済みソフトウェア

・Microsoft Excel 2013 ・Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

排尿日誌アプリ (for Windows PC/334 KB) >

※上記[ダウンロード]をクリックしても、正常にインストールが行えない場合は、下部にある[こちら]をクリックしてください。

② [保存]の右にある^をクリックした後、名前を付けて保存をクリックし任意の場所に保存してください。

関連アプリダウンロード

定時測定データ読み取りアプリ

定時測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアムα-200本体から得たデータをPC上に取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについては取扱説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

正常にインストールが行えない場合は、こちらからファイルをダウンロードしダブルクリックして任意のフォルダに解凍してから、解凍したフォルダ「定時測定データ読み取りアプリ」内の「BTComRelayApp.exe」を実行してご使用ください。また、こちらのファイルを解凍した際、本アプリでは「Microsoft .NET Framework 4.5」が必要となるため、「Microsoft .NET Framework 4.5」のインストーラーが自動で起動します。画面の指示に従ってインストールを完了してから、フォルダ内のアプリを実行してください。

定時測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/52.4 MB) >

排尿日誌アプリ

「リリアムα-200 排尿日誌」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「解析用アプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。動作確認済みソフトウェア

・Microsoft Excel 2013 ・Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

排尿日誌アプリ (for Windows PC/334 KB) >

名前を付けて保存
実行 保存 ^ キャンセル ×

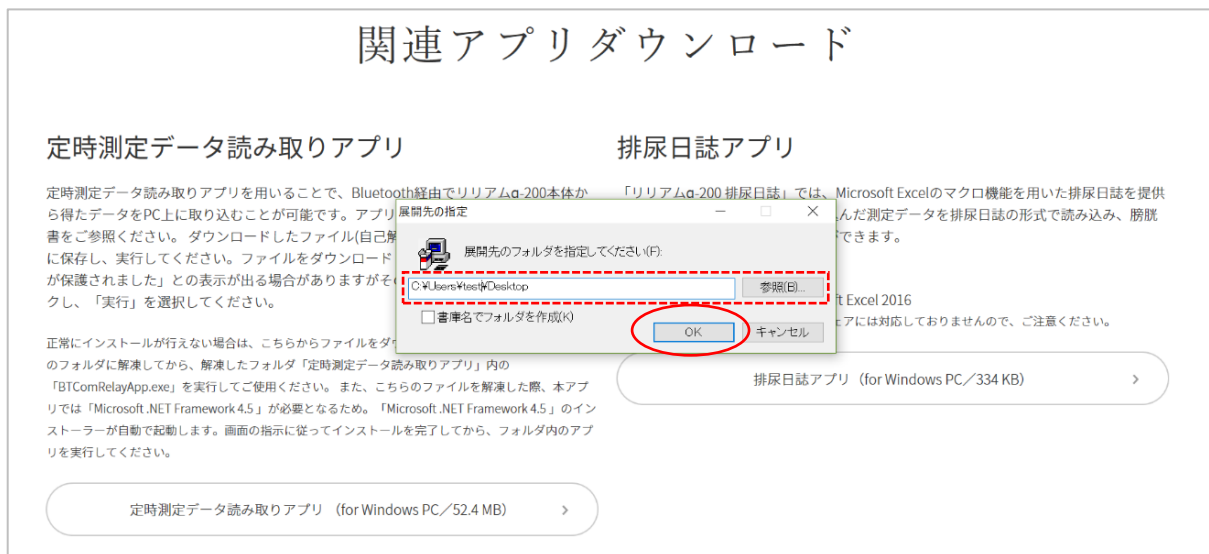
定時測定データ読み取りアプリ.EXE (50.0 MB) について行う操作を選んでください。
場所: support.lio.ne.jp

③ ダウンロードが終了したら、[実行]をクリックします。

定時測定データ読み取りアプリ.EXE のダウンロードが終了しました。

実行 フォルダを開く ダウンロードの表示 ×

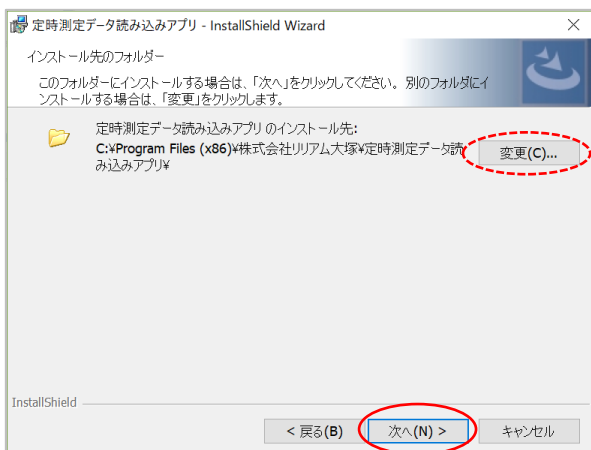
④展開先の任意のフォルダーを指定し、[OK]をクリックします。



⑤自動的にインストーラーが起動します。[次へ(N)]をクリックします。

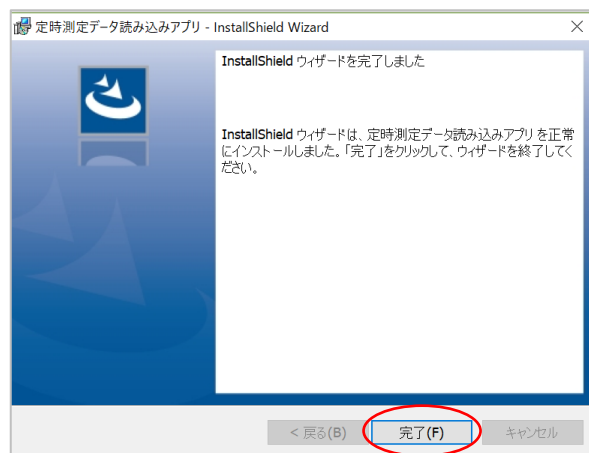
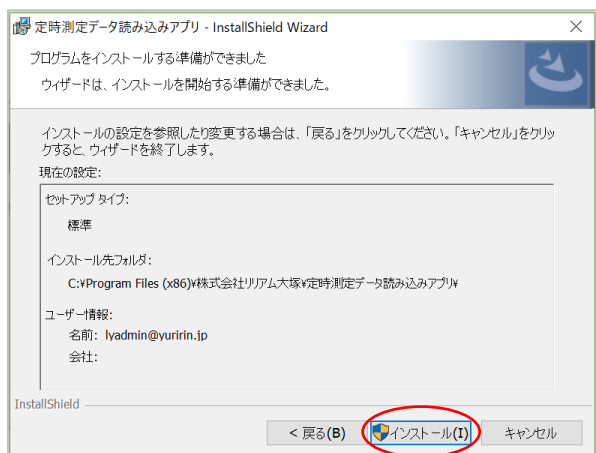


⑥「インストール先のフォルダー」画面が表示されたら、フォルダーを変更する必要がなければ、そのまま[次へ(N)]をクリックします。



※フォルダーを変更する場合には、[変更(C)]をクリックし任意のフォルダーを指定します。

- ⑦ 「インストールをする準備ができました」画面が表示されたら、[インストール(I)]をクリックします。インストールが終了したら、[完了(F)]をクリックしてインストールを完了してください。



3.2.2. 「排尿日誌アプリ」のダウンロード

① [排尿日誌アプリ] をクリックします。

関連アプリダウンロード

定時測定データ読み取りアプリ

定時測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアムa-200本体から得たデータをPC上に取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについては取扱説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

正様にインストールが行えない場合は、こちらからファイルをダウンロードしダブルクリックして任意のフォルダに解凍してから、解凍したフォルダ「定時測定データ読み取りアプリ」内の「BTComRelayApp.exe」を実行してご使用ください。また、こちらのファイルを解凍した際、本アプリでは「Microsoft .NET Framework 4.5」が必要となるため、「Microsoft .NET Framework 4.5」のインストーラーが自動で起動します。画面の指示に従ってインストールを完了してから、フォルダ内のアプリを実行してください。

定時測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/52.4 MB) >

排尿日誌アプリ

「リリアムa-200 排尿日誌」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「解析用アプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。動作確認済みソフトウェア

・ Microsoft Excel 2013 ・ Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

排尿日誌アプリ (for Windows PC/334 KB) >

② [保存]の右にある ^ をクリックした後、名前を付けて保存をクリックし任意の場所に保存してください。

関連アプリダウンロード

定時測定データ読み取りアプリ

定時測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアムa-200本体から得たデータをPC上に取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについては取扱説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

正様にインストールが行えない場合は、こちらからファイルをダウンロードしダブルクリックして任意のフォルダに解凍してから、解凍したフォルダ「定時測定データ読み取りアプリ」内の「BTComRelayApp.exe」を実行してご使用ください。また、こちらのファイルを解凍した際、本アプリでは「Microsoft .NET Framework 4.5」が必要となるため、「Microsoft .NET Framework 4.5」のインストーラーが自動で起動します。画面の指示に従ってインストールを完了してから、フォルダ内のアプリを実行してください。

定時測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/52.4 MB) >

排尿日誌アプリ

「リリアムa-200 排尿日誌」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「解析用アプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。動作確認済みソフトウェア

・ Microsoft Excel 2013 ・ Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

排尿日誌アプリ (for Windows PC/334 KB) >

data_urinationdiary.zip (334 KB) について行う操作を選んでください。
場所: lilium-otsuka.image-science.co.jp

開く 名前を付けて保存 保存 ^ キャンセル ×

③ ダウンロードが終了したら、[フォルダーを開く] をクリックします。

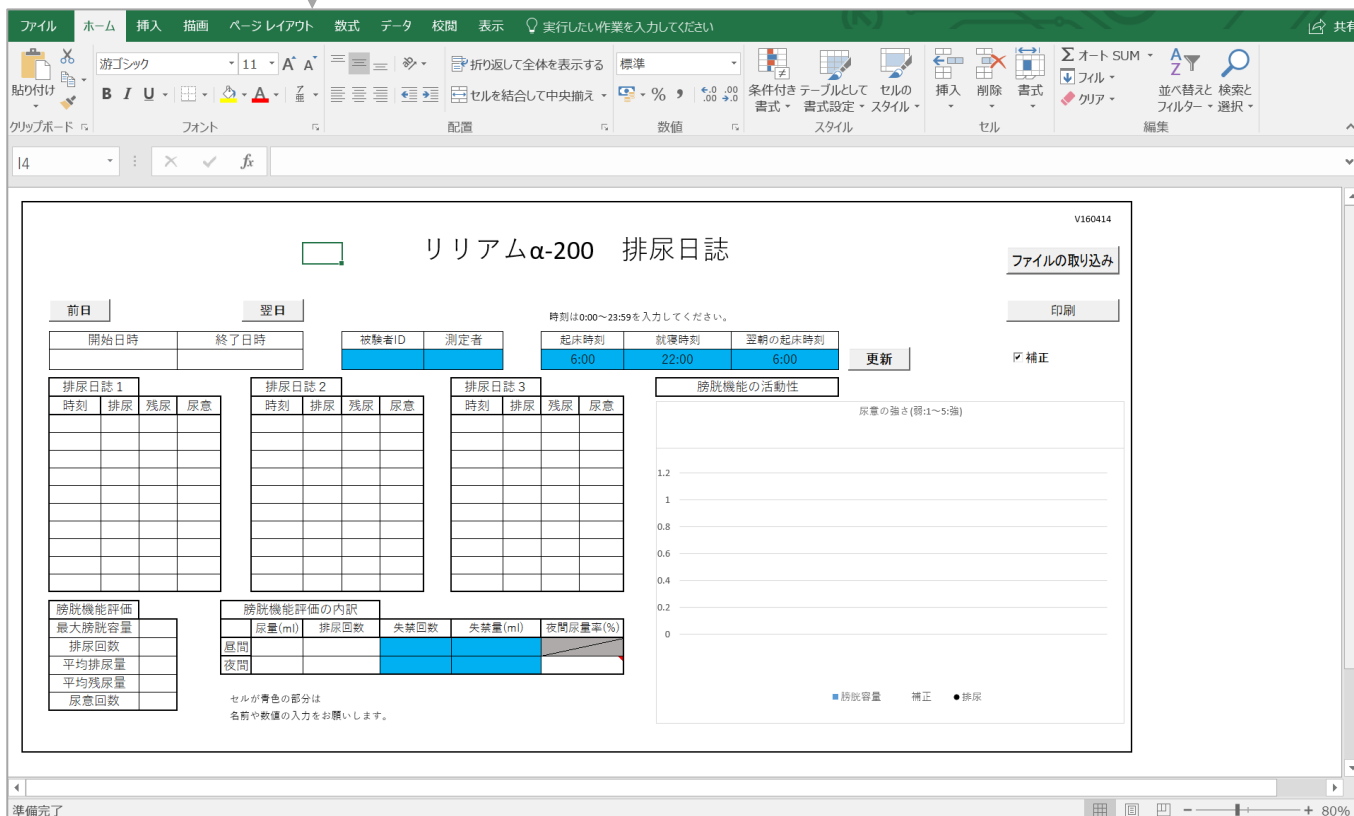
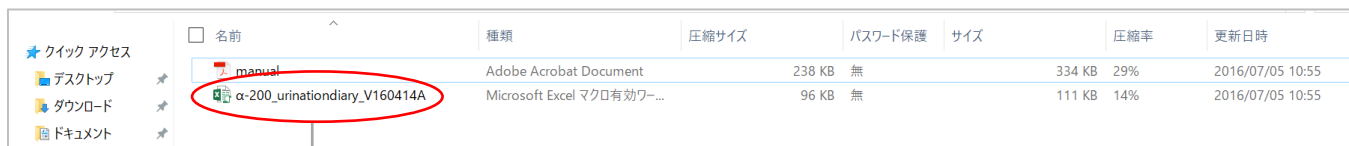
data_urinationdiary.zip のダウンロードが終了しました。

開く フォルダーを開く ダウンロードの表示 ×

④ フォルダが開いたら、[data_urinationdiary] をダブルクリックします。

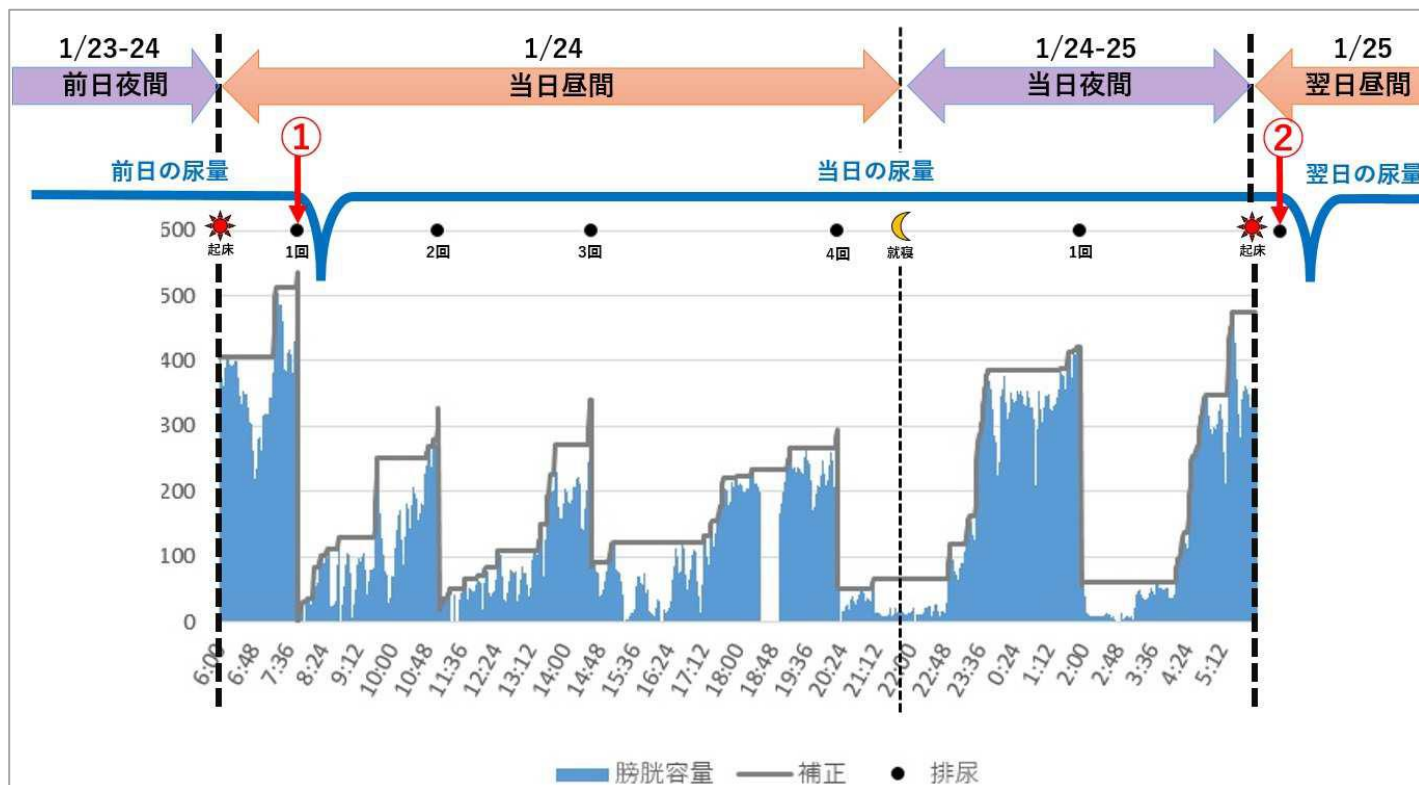


⑤ 「α-200_urinationdiary_...」 と表記されたファイルを任意の場所に保存します。



3.3. 排尿日誌作成手順

3.3.1. (参考)「排尿日誌アプリ」による 排尿日誌を作成するにあたって



アプリの排尿日誌には、「起床時刻」から「翌朝の起床時刻」前までのデータが反映されます。

従来より作成されている排尿日誌では、

【①当日起床後1回目の排尿量は「前日夜間」の尿量とする】

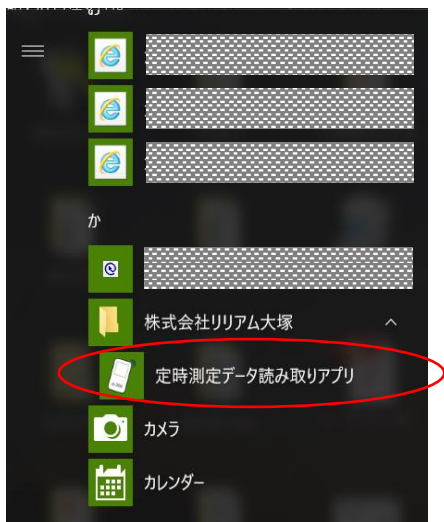
【②翌日起床後1回目の排尿量は「当日夜間」の尿量とする】

とされており、アプリによる排尿日誌作成の際には起床時刻入力の工夫が必要になります。

※パターン把握のみが目的であれば、実際の起床時間の入力で問題ありません。

3.3.2. 定時測定データの読み取り・保存

①アプリ一覧より「定時測定データ読み取りアプリ」をクリックします。



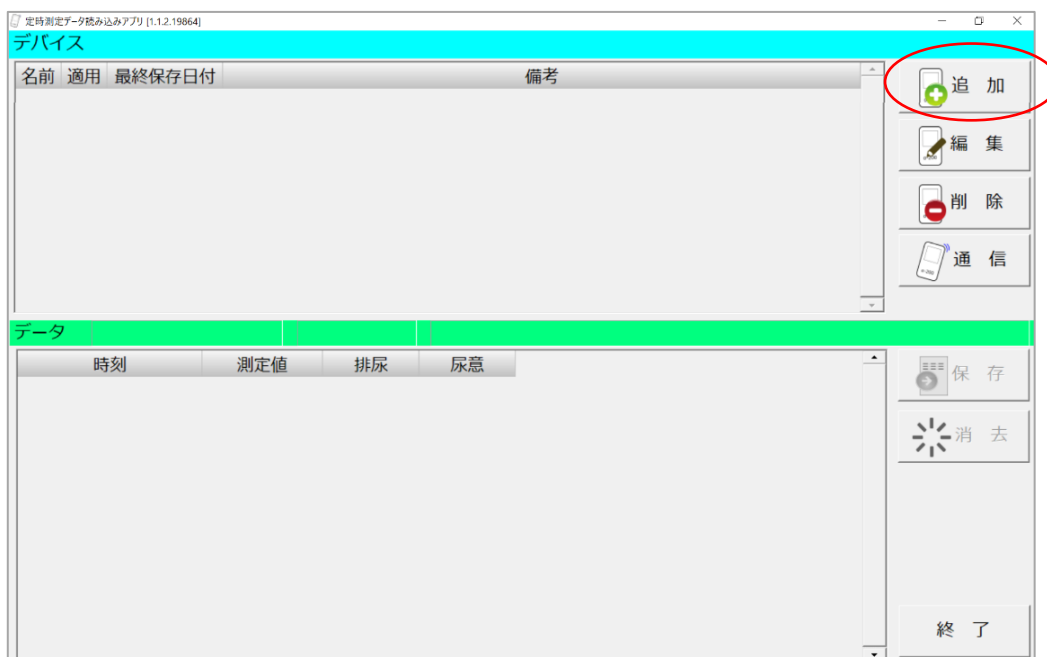
※任意でショートカットあるいは
スタートピンにピン留めしている
場合は、そちらをクリックします。

②アプリを起動した後、「リリアム α -200 (デバイス)」の電源を入れ、
ご使用になるパソコンの近くに置きます。

※無線 (Bluetooth 通信) が「入」になっていることを確認してください。
位置決め時の画面で「F4 キー」を押すと無線「入/切」を変更できます。
(「リリアム α -200 取扱説明書」P. 18 参照)

<③から⑦の手順は、初回使用時またはデバイス追加時のみ。>
※既にデバイスを登録している場合は、手順⑧へ。

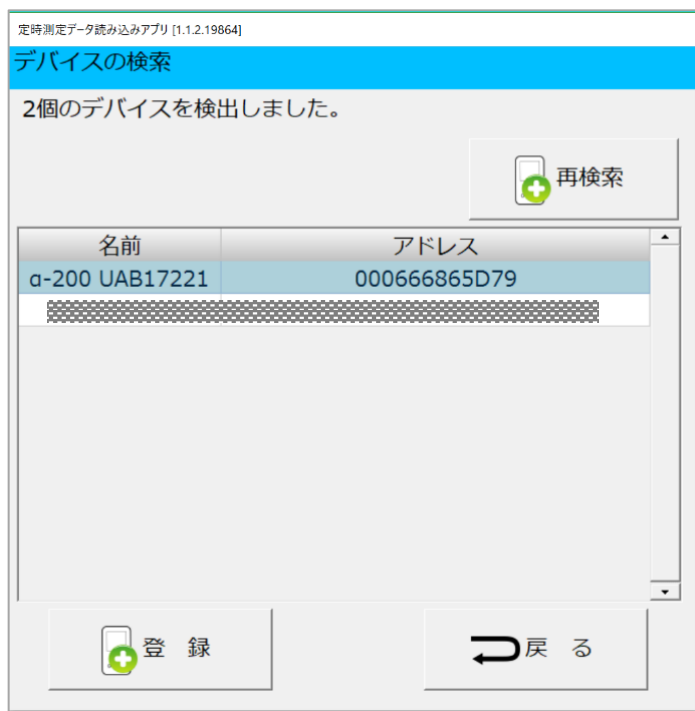
③画面右上の[追加]をクリックします。



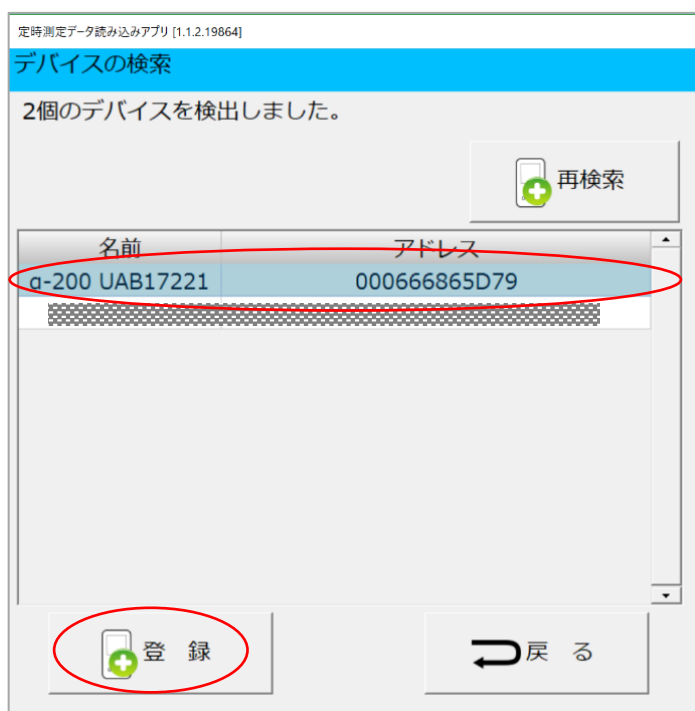
- ④「デバイスの検索」画面が表示され、パソコンの周辺にあるデバイスの検索を開始します。

※「リリアムα-200」以外の Bluetooth 対応機器も同時に検索します。

- ⑤デバイスの検索が終了すると、「デバイスの検索」画面に検索されたデバイスのリストが表示されます。



- ⑥登録したいデバイスをリストの中からクリックした後、[登録]をクリックします。



⑦ 「デバイスの登録」画面が表示されたら、[登録]をクリックします。

※必要時応じて、「適用・備考」欄に追加入力が可能です。

定時測定データ読み込みアプリ [1.1.2.19864]

デバイスの登録

デバイス名 (編集できません)

α-200 UAB17221

適用

(例) 泌尿器科病棟

備考

  登 録

 戻 る

<2回目以降、既にデバイスを登録済みの場合はこちらから>

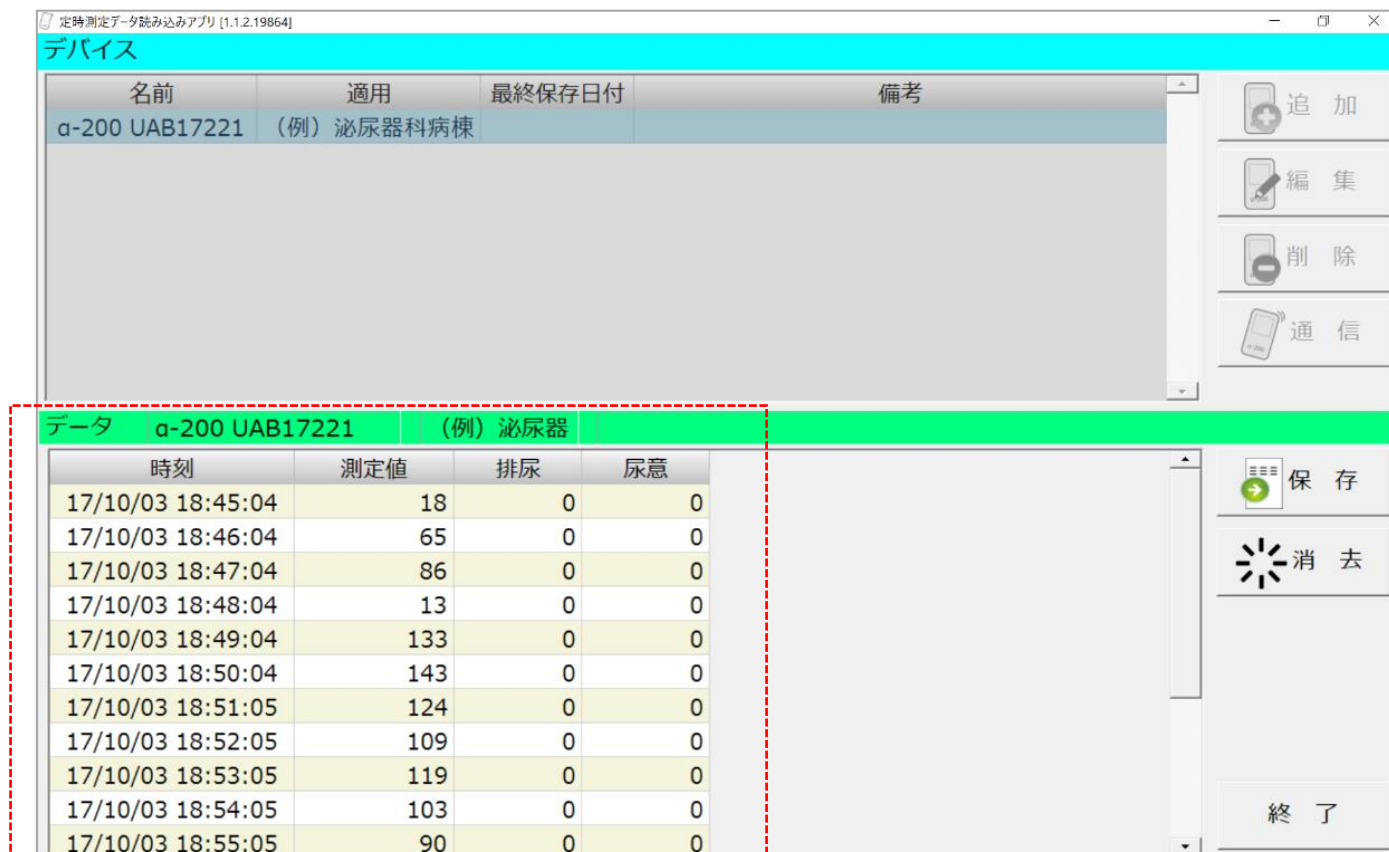
⑧ (2回目以降はアプリを起動した後) 定時測定データが保存されている「リリアムα-200」の電源を入れ、ご使用になるパソコンの近くに置きます。

⑨ データを読み込みたい「リリアムα-200」をリストの中からクリックした後、[通信]をクリックします。



読み取りが終了すると、「データ」欄に定時測定データが表示されます。

※「リリアムα-200」に定時測定データが保存されていない場合は、データの読み込みができません。



⑩ 定時測定データが表示されている状態で、[保存]をクリックします。

定時測定データ読み込みアプリ [1.1.2.19864]

デバイス

名前	適用	最終保存日付	備考
a-200 UAB17221	(例) 泌尿器科病棟		

追加
編集
削除
通信

データ a-200 UAB17221 (例) 泌尿器

時刻	測定値	排尿	尿意
17/10/03 18:45:04	18	0	0
17/10/03 18:46:04	65	0	0
17/10/03 18:47:04	86	0	0
17/10/03 18:48:04	13	0	0
17/10/03 18:49:04	133	0	0
17/10/03 18:50:04	143	0	0
17/10/03 18:51:05	124	0	0
17/10/03 18:52:05	109	0	0
17/10/03 18:53:05	119	0	0
17/10/03 18:54:05	103	0	0
17/10/03 18:55:05	90	0	0

保存
消去
終了

⑪ 「保存先ファイルを入力」画面が表示されたら、ファイル名を入力して任意の場所を選択し、[保存]をクリックします。

保存先ファイル名を入力してください

PC > デスクトップ > 各種最終校正 > 取説画像 > 元画像 > 新しいフォルダー

新しいフォルダーの検索

整理 新しいフォルダー

検索条件に一致する項目はありません。

ファイル名(N): 定時測定データ (20171003 氏名)

ファイルの種類(T): CSVファイル(*.csv)

保存(S) キャンセル

⑫ ファイルの保存が完了したら[OK]をクリックします。

定時測定データ読み込みアプリ [1.1.2.19864]

デバイス

名前	適用	最終保存日付	備考
a-200 UAB17221	(例) 泌尿器科病棟	2017/10/03 19:20:13	

定時測定データ読み込みアプリ [1.1.2.19864]

ファイルへの保存が完了しました。

OK

データ a-200 UAB17221

時刻	測定		
17/10/03 18:45:04			
17/10/03 18:46:04			
17/10/03 18:47:04			
17/10/03 18:48:04	13	0	0
17/10/03 18:49:04	133	0	0
17/10/03 18:50:04	143	0	0
17/10/03 18:51:05	124	0	0
17/10/03 18:52:05	109	0	0
17/10/03 18:53:05	119	0	0
17/10/03 18:54:05	103	0	0
17/10/03 18:55:05	90	0	0

追加
編集
削除
通信
保存
消去
終了

ここまでで「定時測定データアプリ」による作業は終了です。
続いて「排尿日誌アプリ」による作業へ進んでください。

3.3.3. 「排尿日誌アプリ」による排尿日誌作成例

①「3.3.2. ③」で任意の場所に保存した「排尿日誌アプリ (Excel)」を開きます。

※上部にポップアップが表示されている場合は、[コンテンツの有効化]をクリックします。

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 **コンテンツの有効化**

②[ファイルの取り込み]をクリックし、編集する「定時測定データ」を選択します (①)。

リアムα-200 排尿日誌

前日 翌日

時刻は0:00~23:59を入力してください。

開始日時	終了日時	被験者ID	測定者	起床時刻	就寝時刻	翌朝の起床時刻
				6:00	22:00	6:00

更新

膀胱機能の活動性

尿量の強さ(弱:1~5:強)

時刻	排尿	残尿	尿意

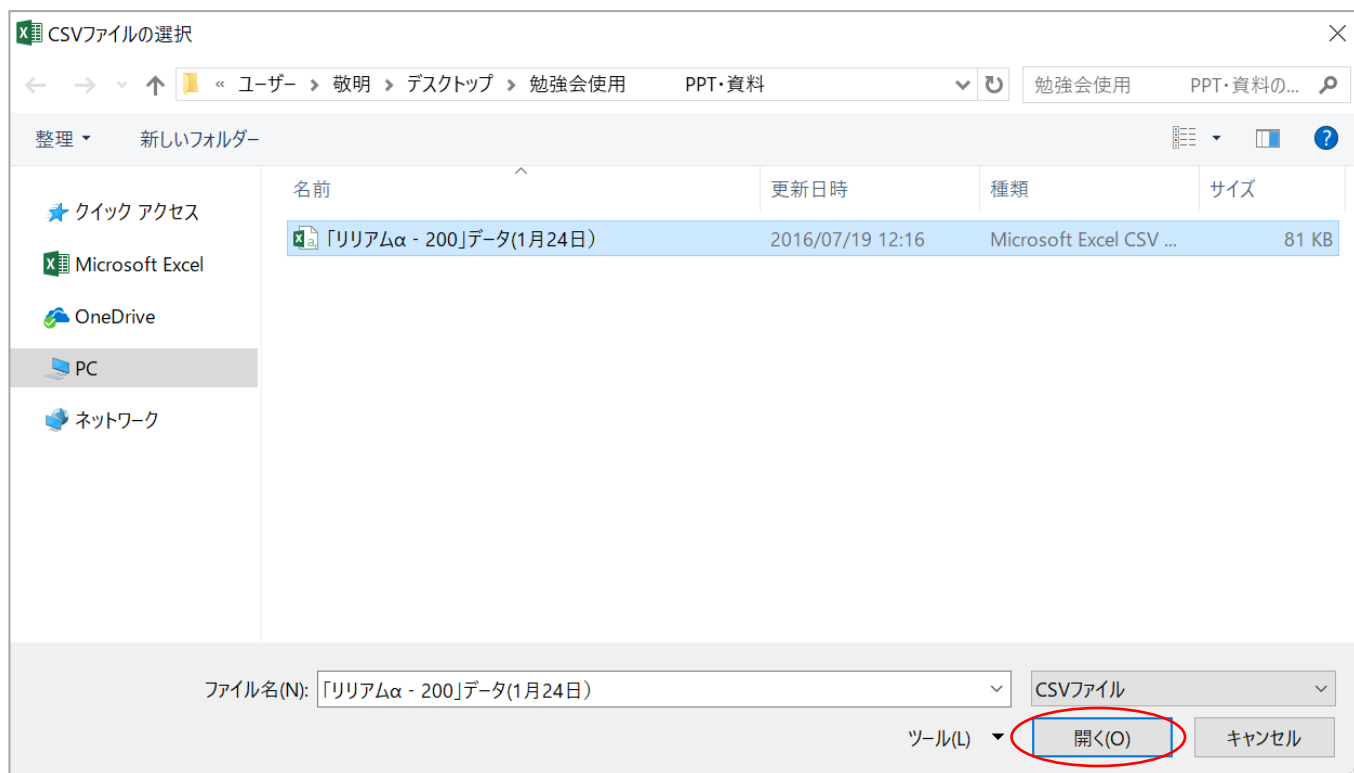
膀胱機能評価	膀胱機能評価の内訳				
最大膀胱容量	尿量(ml)	排尿回数	失禁回数	失禁量(ml)	夜間尿量率(%)
排尿回数	昼間				
平均排尿量	夜間				
平均残尿量					
尿意回数					

セルが青色の部分は
名前や数値の入力をお願いします。

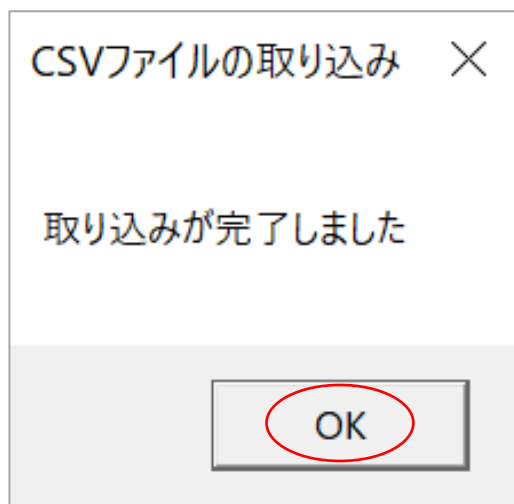
膀胱機能の活動性

■膀胱容量 補正 ●排尿

- ③ 「CSV ファイルの選択」画面が表示されます。任意の場所に保存された
定時測定データを選択し、[開く (O)]をクリックします。



- ④ 取り込みが完了したら、[OK]をクリックします。



⑤ 排尿日誌を編集します。

※パターン把握のみが目的であれば、以下の作業をせず[印刷]をクリックします。
ただし、昼間・夜間尿量や夜間尿量率などは、きちんとデータ反映されません。

「前日」・「翌日」のデータ確認はこのボタンをクリックしてください。

V160414

リリアムα-200 排尿日誌

ファイルの取り込み

印刷

時刻は0:00～23:59を入力してください。

起床時刻 就寝時刻 翌朝の起床時刻

② 6:00 ③ 22:00 ④ 6:00 ⑤ 更新

補正

開始日時	終了日時	被験者ID	測定者
2016/1/24 6:00	2016/1/25 6:00		

排尿日誌 1			
時刻	排尿	残尿	尿意
7:48			5:535
7:49	505	30	
11:04	292	36	4:328
14:36	249	92	5:330
20:18	243	51	4:294
1:56	361	60	4:348

排尿日誌 2			
時刻	排尿	残尿	尿意

排尿日誌 3			
時刻	排尿	残尿	尿意

膀胱機能の活動性			
時刻	膀胱容量	補正	排尿
6:00	400		
6:50	500		
7:40	100		
8:30	150		
9:20	250		
10:10	300		
11:00	100		
11:50	150		
12:40	200		
13:30	250		
14:20	100		
15:10	150		
16:00	200		
16:50	250		
17:40	100		
18:30	150		
19:20	200		
20:10	100		
21:00	150		
21:50	200		
22:40	350		
23:30	400		
0:20	100		
1:10	150		
2:00	200		
2:50	300		
3:40	400		
4:30	100		
5:20	150		

膀胱機能評価			
最大膀胱容量	535		
排尿回数	5		
平均排尿量	330		
平均残尿量	53		
尿意回数	5		

膀胱機能評価の内訳			
尿量(ml)	排尿回数	失禁回数	失禁量(ml)
昼間 1289	⑥ 4		
夜間 361	1		
			⑦ 21

セルが青色の部分は
名前や数値の入力をお願いします。

次の手順で進めます。

※就寝時刻は、実際の時刻を入力してください (③)

※被験者 ID、測定者、失禁回数、失禁量 (青色塗りつぶし項目) は
任意で直接入力可能です。

- ① 「起床時刻」を「起床後 1 回目の排尿時刻」の 1 分後に設定します (②)。
- ② 「翌朝の起床時刻」も同様に「起床後 1 回目の排尿時刻」の 1 分後に設定します (④)。
- ③ [更新] をクリック (⑤) した後、昼間の「排尿回数」を 1 回分増やし、夜間の「排尿回数」を 1 回分減らします (⑥)。自動で夜間尿量率が再計算されます (⑦)

⑥ [印刷] をクリックすると任意のプリンタから印刷できます。

V160414

リリアムα-200 排尿日誌

ファイルの取り込み

⑧ 印刷

時刻は0:00～23:59を入力してください。

前日		翌日		被験者ID	測定者	起床時刻	就寝時刻	翌朝の起床時刻	更新	<input type="checkbox"/> 補正
開始日時	終了日時					7:50	2:00	6:33		
2016/1/24 7:50	2016/1/25 6:33									

排尿日誌 1			
時刻	排尿	残尿	尿意
11:04	292	36	4:328
14:36	249	92	5:330
20:18	243	51	4:294
1:56	361	60	4:348
6:31			4:378
6:32	449	25	

排尿日誌 2			
時刻	排尿	残尿	尿意

排尿日誌 3			
時刻	排尿	残尿	尿意

膀胱機能評価	
最大膀胱容量	474
排尿回数	5
平均排尿量	318
平均残尿量	52
尿意回数	5

膀胱機能評価の内訳					
	尿量(ml)	排尿回数	失禁回数	失禁量(ml)	夜間尿量率(%)
昼間	1145	5			
夜間	449	0			28

セルが青色の部分は
名前や数値の入力をお願いします。

膀胱機能の活動性

尿意の強さ(弱:1~5:強)

500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0

7:50 8:37 9:24 10:11 10:39 11:04 11:48 12:32 13:19 14:06 14:53 15:40 16:27 17:14 18:01 18:48 19:35 20:22 21:09 21:56 22:43 23:30 0:17 1:04 1:51 2:38 3:25 4:12 4:59 5:46

■ 膀胱容量 — 補正 ● 排尿

<排尿日誌印刷例>

Otsuka
株式会社リリアム大塚

リリアムα-200 排尿日誌

被験者ID	測定者
LIO123456	大塚

開始日時	終了日時	起床時刻	就寝時刻	翌朝の起床時刻
2016/1/24 7:55	2016/1/25 6:45	7:55	2:00	6:45

排尿日誌 1			
時刻	排尿	残尿	尿意
11:04	292	36	4:328
14:36	249	92	4:330
20:18	243	51	4:294
1:56	361	60	4:348
6:31			4:378
6:32	449	25	

排尿日誌 2			
時刻	排尿	残尿	尿意

排尿日誌 3			
時刻	排尿	残尿	尿意

膀胱機能評価	
最大膀胱容量	474
排尿回数	5
平均排尿量	318
平均残尿量	52
尿意回数	5

膀胱機能評価の内訳					
	尿量	排尿回数	失禁回数	失禁量	夜間尿量率
昼間	1145	5	0	0	
夜間	449	0	0	0	28

膀胱機能の活動性

尿意の強さ(弱:1~5:強)

500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0

2:55 8:33 9:11 9:49 10:27 11:05 11:43 12:21 12:59 13:37 14:15 14:53 15:31 16:09 16:47 17:25 18:03 18:41 19:19 19:57 20:35 21:13 21:51 22:29 23:07 23:45 0:23 1:01 1:39 2:17 2:55 3:33 4:11 4:49 5:27 6:05 6:43

■ 膀胱容量 — 補正 ● 排尿

※2~3日分の定時測定データがある場合には、1日ごとに印刷が必要です。

3.3.4. (参考) 定時測定データの編集

定時測定中に排尿・尿意の記録ができない場合、測定終了後に「リリアムα-200」本体またはパソコンに取り込んだ定時測定データから編集することが可能です。


3.3.4.1. 「リリアムα-200」本体からの編集


①電源を入れ、F3キー（）を押し、定時測定モード画面に切り替えます。

※この時、決定開始ボタンを押してしまうと定時測定が開始され、3日前より古いデータは自動的に消去されてしまいますのでご注意ください。

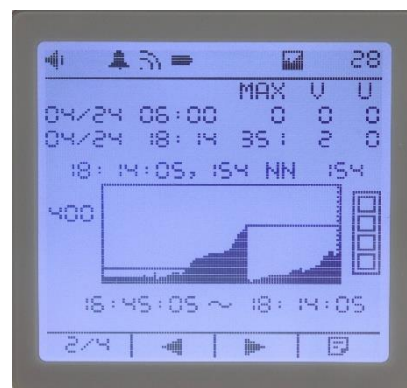
②定時測定モードの画面において、(2/4)画面に切り替えます。


③F2キー・F3キーを押し、編集したい過去の時間に移動します。


F2キー（）：グラフ上のカーソルを表示したい時刻に戻します。


F3キー（）：グラフ上のカーソルを表示したい時刻に進めます。

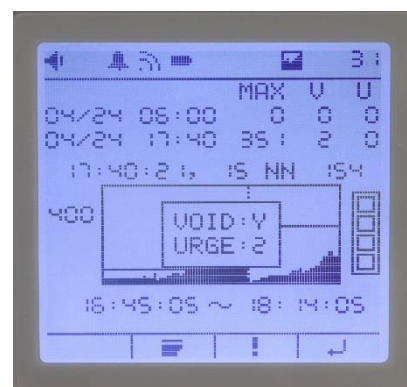
※短押し：カーソルが1分間分移動
長押し：カーソルが90分間分移動




④編集したい過去の時間にカーソルを移動したら、F4キー（）を押し、排尿の有無または尿意を編集します。

F2キー（）：押すごとにY(排尿あり)またはN(排尿なし)に切り替わります。

F3キー（）：F3キーを押すごとに、1→2→…→5→N(画面上は表示なし)と進みます。



⑤編集が終了したら、F4キー（）を押します。

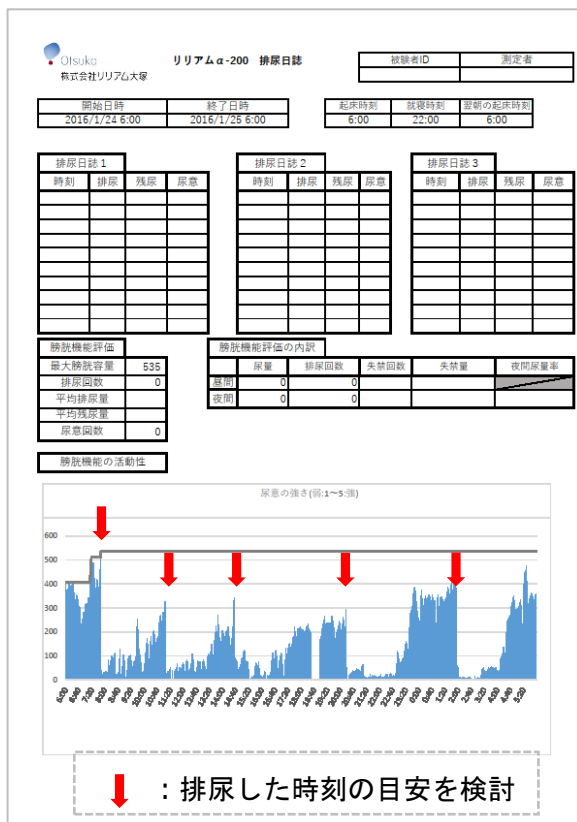
3.3.4.2. パソコンに取り込んだ定時測定データからの編集

①排尿日誌アプリを使用して、パソコンに取り込んだ任意の定時測定データを (P. 46 参照) 印刷します。

※その際、手順⑤「排尿日誌を編集します」の手順は省いてください。

②印刷した排尿日誌データから排尿 (あるいは失禁) した時刻の目安を検査します。

※別途、排尿や失禁の時刻について記録していれば、その時刻を次の手順で測定データに反映させてください。



③最初に取り込んだ定時測定データ (csv ファイル) を開きます。

時刻	測定値	排尿	尿意
2016/1/24 5:33	373		
2016/1/24 5:34	364		
2016/1/24 5:35	363		
2016/1/24 5:36	332		
2016/1/24 5:37	308		
2016/1/24 5:38	274		
2016/1/24 5:39	248		
2016/1/24 5:40	220		
2016/1/24 5:41	214		
2016/1/24 5:42	212		
2016/1/24 5:43	216		
2016/1/24 5:44	196		
2016/1/24 5:45	178		
2016/1/24 5:46	178		
2016/1/24 5:47	168		
2016/1/24 5:48	172		
2016/1/24 5:49	200		
2016/1/24 5:50	213		
2016/1/24 5:51	241		
2016/1/24 5:52	267		
2016/1/24 5:53	285		

- ④ ②で検討した排尿（あるいは失禁）時刻の目安の時間帯にカーソルを移動します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	時刻	測定値	排尿	尿意													
327	2016/1/24 10:58	280															
328	2016/1/24 10:59	268															
329	2016/1/24 11:00	256															
330	2016/1/24 11:01	270															
331	2016/1/24 11:02	267															
332	2016/1/24 11:03	296															
333	2016/1/24 11:04	328															
334	2016/1/24 11:05	17															
335	2016/1/24 11:06	14															
336	2016/1/24 11:07	26															
337	2016/1/24 11:08	26															
338	2016/1/24 11:09	0															
339	2016/1/24 11:10	29															
340	2016/1/24 11:11	35															
341	2016/1/24 11:12	32															
342	2016/1/24 11:13	0															
343	2016/1/24 11:14	36															
344	2016/1/24 11:15	35															
345	2016/1/24 11:16	37															
346	2016/1/24 11:17	41															
347	2016/1/24 11:18	44															

- ⑤測定値の推移を見ながら、排尿（あるいは失禁）後の時刻の排尿記録セルの数字を1に変更します。排尿（あるいは失禁）回数分、この操作を繰り返します。尿意を記録していた場合は、同様に尿意記録セルの数字を1～5に変更します。

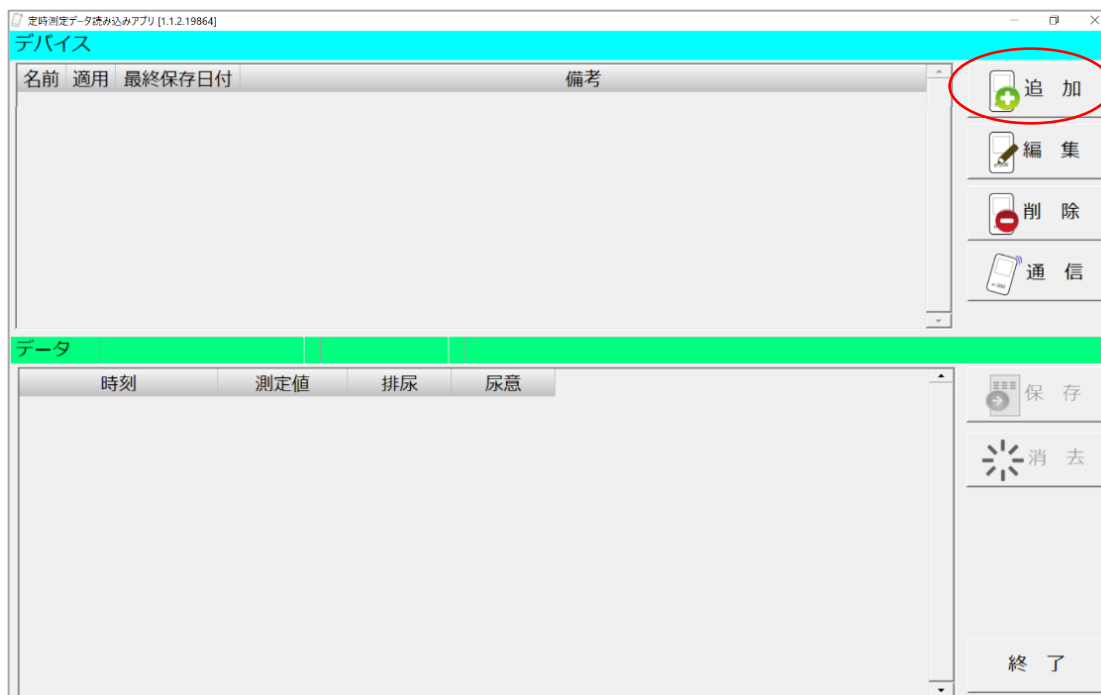
※尿意の記録は任意で構いません。排尿記録を編集することで、排尿日誌アプリにより排尿日誌は作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	時刻	測定値	排尿	尿意													
327	2016/1/24 10:58	280															
328	2016/1/24 10:59	268															
329	2016/1/24 11:00	256															
330	2016/1/24 11:01	270															
331	2016/1/24 11:02	267															
332	2016/1/24 11:03	296															
333	2016/1/24 11:04	328															
334	2016/1/24 11:05	17															
335	2016/1/24 11:06	14															
336	2016/1/24 11:07	26															
337	2016/1/24 11:08	26															
338	2016/1/24 11:09	0															
339	2016/1/24 11:10	29															
340	2016/1/24 11:11	35															
341	2016/1/24 11:12	32															
342	2016/1/24 11:13	0															
343	2016/1/24 11:14	36															
344	2016/1/24 11:15	35															
345	2016/1/24 11:16	37															
346	2016/1/24 11:17	41															
347	2016/1/24 11:18	44															

3.3.5. Bluetooth 通信がうまくいかない場合

- 症状 1 . . . 「リリアム α -200」の初回登録時に、[追加] をクリックしてもデバイスを検索できない（検索できたが、デバイスを登録できない場合も同じ）。

※「リリアム α -200」の電源が入っていない場合やパソコンの Bluetooth がオフになっている場合などは検索できません。



- 症状 2 . . . 定時測定データ読み取り時に、[通信] をクリックしてもデータを読み込めない。

※「リリアム α -200」に定時測定データが保存されていない場合は、[通信] をクリックしてもデータは読み込めません。

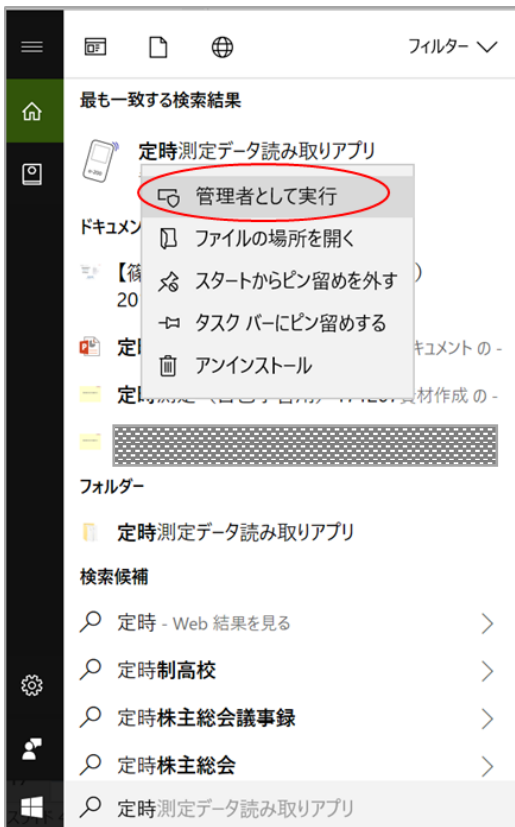


◎Bluetooth 通信がうまくいかない場合は、以下の手順を試してください。

①パソコンの検索機能を活用し、「定時」と入力し検索します。



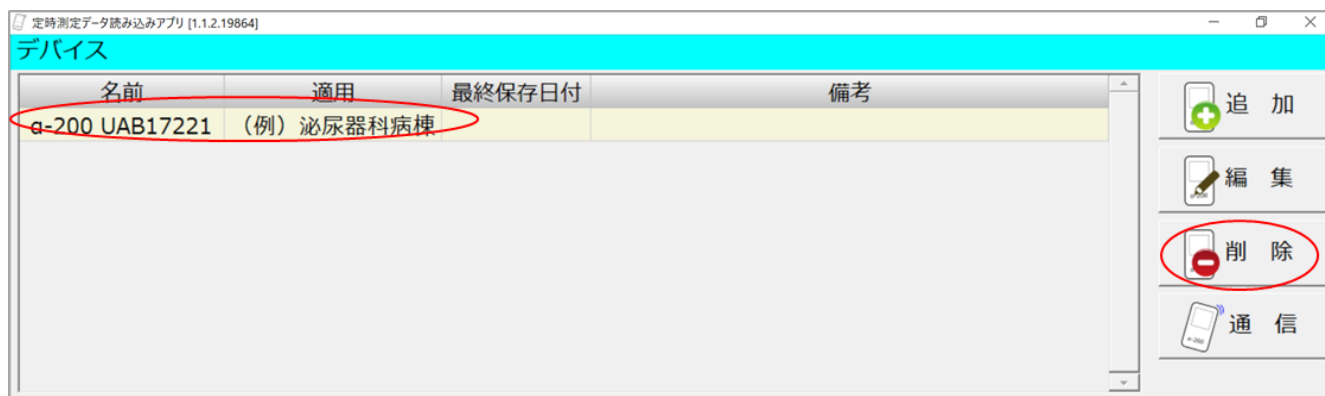
②「定時測定データ読み取りアプリ」を右クリックし、続いて「管理者として実行」をクリックします。



※この操作は、システム管理者にご確認の上実行してください。

◎ [管理者として実行]を試しても、定時測定データを読み込めない場合は、さらに以下の手順を試してください。

①登録したデバイスをクリックして選択した後、[削除]をクリックします。



②再度、手順どおり使用する「リリアムα-200」を登録してください。

※上記手順を試しても定時測定データを読み込めない場合は、アプリのアンインストール・再インストールも試してください。

※不明な点等ございましたら、「株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター」までご連絡ください。

索引

(☆印は、操作・手順のヒント)

アルファベット・数字

・Bluetooth (Class2)	20
☆Bluetooth 通信がうまくいかない場合	53
・Bluetooth 対応機器	41
・ERROR ランプ	16, 19, 28
・F1 キー	22, 24, 26
・F2 キー	21, 22, 23, 24, 26, 50
・F3 キー	21, 22, 24, 25, 50
・F4 キー	21, 22, 23, 26, 40, 50
・POWER ランプ	16, 19, 28
・3P プラグ	19
・2P ソケット	19

あ

・青色部分 (排尿日誌アプリ)	30, 31
・アクセサリ	3, 5, 6, 11
・アプリのアンインストール・再インストール	55
・アプリのインストール	32
・印刷可能／印刷中 (プリンタの状態)	28
・印刷結果 (専用プリンタ)	27
・印刷ボタン (排尿日誌アプリ)	31

か

・開始日時・終了日時 (排尿日誌アプリ)	30
・開閉レバー	16, 18
・角度補正具	4, 10
☆角度補正具の選択	10

☆下腹部が出ている方	10
・株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター	14, 28, 55, 裏表紙
・株式会社リリアム大塚ホームページ	32, 裏表紙
・感熱紙	5, 15, 18, 28
・感熱紙未挿入（プリンタの状態）	28
・管理者として実行（定時測定用データ読み取りアプリ）	55
・起床時刻（排尿日誌アプリ）	30, 31, 39, 48
・起床時刻・就寝時刻・翌朝の起床時刻の入力（排尿日誌アプリ）	30, 48
☆起床時刻入力の工夫（排尿日誌アプリ）	39
・気泡	8
・グラフの補正表示（排尿日誌アプリ）	31
・警告	13
・決定開始ボタン	20, 21, 22, 24, 25
・現在の測定値の印刷（残尿測定）	23
・検索（専用プリンタ）	21
・更新ボタン（排尿日誌アプリ）	30
☆固定用テープの貼り方	9
・コンセント	13, 14, 19, 29

さ

・最大膀胱容量（排尿日誌アプリ）	31
・残尿（排尿日誌アプリ）	31
☆残尿測定データの印刷	23
・残尿測定用アダプタ	3, 6, 17
・残尿測定用クリップ	3, 7
・残尿測定用ポーチ	5, 11
・残尿量（排尿日誌アプリ）	31
・時刻（排尿日誌アプリ）	30, 31, 48, 50, 51, 52
・失禁回数（排尿日誌アプリ）	31, 48
・失禁量（排尿日誌アプリ）	31, 48
・就寝時刻（排尿日誌アプリ）	30, 48
・充電式電池セット	5
・清掃方法（専用プリンタ）	28
・製品情報ページ（ホームページ）	32
・前日・翌日ボタン（排尿日誌アプリ）	30
・専用プリンタ	5, 12, 13, 15, 20, 21, 23, 24, 25, 26

☆専用プリンタからの印刷	20
☆専用プリンタの登録・登録削除	20
・測定者（排尿日誌アプリ）	30, 48
・測定停止	25

た

・単3形乾電池	3, 20, 22, 24, 25
・注意	13
・昼間尿量（排尿日誌アプリ）	31, 48
・通信（定時測定用データ読み取りアプリ）	43, 53
・通信失敗	23, 24, 26
・定時測定データ	25, 31, 43, 44, 46, 47, 49, 50, 51, 53, 55
☆定時測定データの印刷（専用プリンタ）	25
☆定時測定データの印刷（定時測定用データ読み取りアプリ）	25
・定時測定データの選択（定時測定用データ読み取りアプリ）	46
・定時測定データの編集	50, 51
・定時測定データの読み取り・保存（定時測定用データ読み取りアプリ）	40
・定時測定データ読み取りアプリ	32, 34, 40
・定時測定用データ読み取りアプリ DVD	32
・定時測定用ジェルパッド	4, 8
・定時測定用ポーチ	5, 11
・データ欄（定時測定用データ読み取りアプリ）	43
・適用・備考（定時測定用データ読み取りアプリ）	42
・デバイス	21, 40, 41, 43, 53, 55
・デバイスの検索（定時測定用データ読み取りアプリ）	41
・デバイスの登録（定時測定用データ読み取りアプリ）	41, 42
・電源	13, 14, 16, 19, 20, 22, 23, 24, 25, 28, 29, 40, 43, 50, 53
・電源切（プリンタの状態）	28
・電源コード	13, 14, 15, 16, 19, 29
・電源コネクタ	16, 19, 29
・電源スイッチ	16, 19, 29
・電源プラグ	13, 14, 19, 28, 29
・電源プラグ変換アダプター	15, 19
☆電源を入れる/切る（専用プリンタ）	19
・同梱品	15

な

- ・ 内部故障（プリンタの状態）28
- ・ 尿意（排尿日誌アプリ）31, 50
- ・ 尿意回数（排尿日誌アプリ）31
- ・ 尿意の記録（排尿日誌アプリ）31, 50, 52

は

- ・ 排尿（排尿日誌アプリ）31, 50, 51, 52
- ・ 排尿回数（排尿日誌アプリ）31, 48
- ・ 排尿日誌30, 31, 33, 39, 48, 49, 52
- ・ 排尿日誌アプリ32, 33, 37, 39, 45, 46, 51, 52
- ・ 排尿日誌印刷例（専用プリンタ）27
- ・ 排尿日誌印刷例（排尿日誌アプリ）49
- ☆ 排尿日誌作成手順（排尿日誌アプリ）39, 46
- ・ 排尿の記録（排尿日誌アプリ）31, 50
- ・ 排尿量（排尿日誌アプリ）31
- ・ 被験者 ID（排尿日誌アプリ）30, 48
- ・ ファイルの取り込みボタン（排尿日誌アプリ）31
- ・ フィードスイッチ16, 29
- ・ プリンタのエラー表示28
- ・ プリンタの状態表示28, 29
- ・ プリンタ用感熱紙15, 18
- ☆ プリンタ用感熱紙のセット方法18
- ・ プローブ3, 4, 6, 9, 10, 11, 20, 22, 24
- ・ プローブケーブル6, 7, 9
- ・ 平均残尿量（排尿日誌アプリ）31
- ・ 平均排尿量（排尿日誌アプリ）31
- ・ ペーパーカッター16, 18
- ・ ペーパーカバー16, 18, 28
- ・ ペーパーカバー解放状態（プリンタの状態）29
- ・ 膀胱機能の活動性（排尿日誌アプリ）31
- ・ 膀胱機能評価（排尿日誌アプリ）31
- ・ 膀胱機能評価の内訳（排尿日誌アプリ）31
- ・ ポケット付固定帯4, 11
- ・ 本体収納スペース17, 20
- ・ 保護シート8

- 保存した測定値の印刷（残尿測定）24
- 補正選択（排尿日誌アプリ）31

ま

- 水スプレー4, 8
- 無線（Bluetooth 通信）40

や

- 夜間尿量（排尿日誌アプリ）31, 48
- 夜間尿量率（排尿日誌アプリ）31, 48

ら

- リリアムジェル3
- リリアムテープ4, 9

~Memo~

第1版 2018年6月
第2版 2021年4月

株式会社リリアム大塚

Lilium Otsuka Co., Ltd.
<https://www.lilium.otsuka/>

製造販売元

株式会社リリアム大塚
神奈川県相模原市中央区中央1-1-1

発売元

株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

販売提携

大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先及びお問い合わせ先

株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター
TEL 0120-719-814(フリーダイヤル)